

平成 2 2 年度

第 8 回

県民アンケート調査報告書

「スポーツに対する意識及び実施状況について」

平成 2 2 年 1 1 月

新潟県知事政策局広報広聴課

目 次

調査の概要	1
調査結果の要旨	2
調査結果の概要	
1. スポーツへの関心	4
2. 関心のあるスポーツ	6
3. スポーツ観戦について	7
4. 大規模スポーツイベントの開催について	10
5. この1年間に行った運動やスポーツについて	13
6. 今後行ってみたい運動やスポーツ	21
7. 運動やスポーツのクラブまたは同好会について	24
8. スポーツ振興に向けて県に注力してもらいたいこと	31
9. 自由回答欄に寄せられたコメント(抜粋)	33

利用にあたって

1. 結果は百分比で表示した。表及び解説の百分比は小数点第2位を四捨五入したため、合計が100%に過不足することがある。
2. 「n=〇」は回答者数を表し、百分比算出の基礎となっている。
3. 2つ以上の回答を認めたものは、その百分比の合計は100%を超える。

調査の概要

1 調査項目

スポーツに対する意識及び実施状況について

2 調査目的

新潟県では、平成18年12月に生涯スポーツ社会の実現を基本理念として県民スポーツ振興プランを策定しました。

このプランでは、成人の週1日以上スポーツ実施率を50%以上にすることを目標に、地域のスポーツ環境を整備するほか、大規模スポーツイベントの積極的な誘致などにより、地域の活性化を図ることとしています。

今回のアンケートでは、県民の皆様のスポーツに対する意識及び実施状況についてお聞きし、今後の施策に反映させる予定です。

3 調査期間

平成22年8月17日(火)～8月31日(火)

4 調査方法

郵送法

5 調査対象者

県民アンケート調査協力員(350人)

6 回答者数

300人(回収率85.7%)

7 アンケート調査回答者の構成

		対象者		回答者		回収率 (%)
		実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)	
		350	100.0	300	100.0	
性別	男性	175	50.0	147	49.0	84.0
	女性	175	50.0	153	51.0	87.4
年齢別	20～39歳	106	30.3	86	28.7	81.1
	40～59歳	128	36.6	112	37.3	87.5
	60～79歳	116	33.1	102	34.0	87.9
地区別	下越地区	32	9.1	27	9.0	84.4
	新潟地区	136	38.9	119	39.7	87.5
	中越地区	102	29.1	86	28.7	84.3
	魚沼地区	26	7.4	21	7.0	80.8
	上越地区	44	12.6	38	12.7	86.4
	佐渡地区	10	2.9	9	3.0	90.0

調査結果の要旨

< スポーツへの関心について > P.4

- スポーツは好きかを尋ねたところ、「することも、見ることも好きである」が63.7%、「見ることは好きだが、するのは好きではない」が28.0%であった。
- 特に関心のあるスポーツについて尋ねたところ、「野球（プロ野球、高校野球など）」、「サッカー」、「マラソン・駅伝」が多くを占め、過去調査と同様の結果であった。

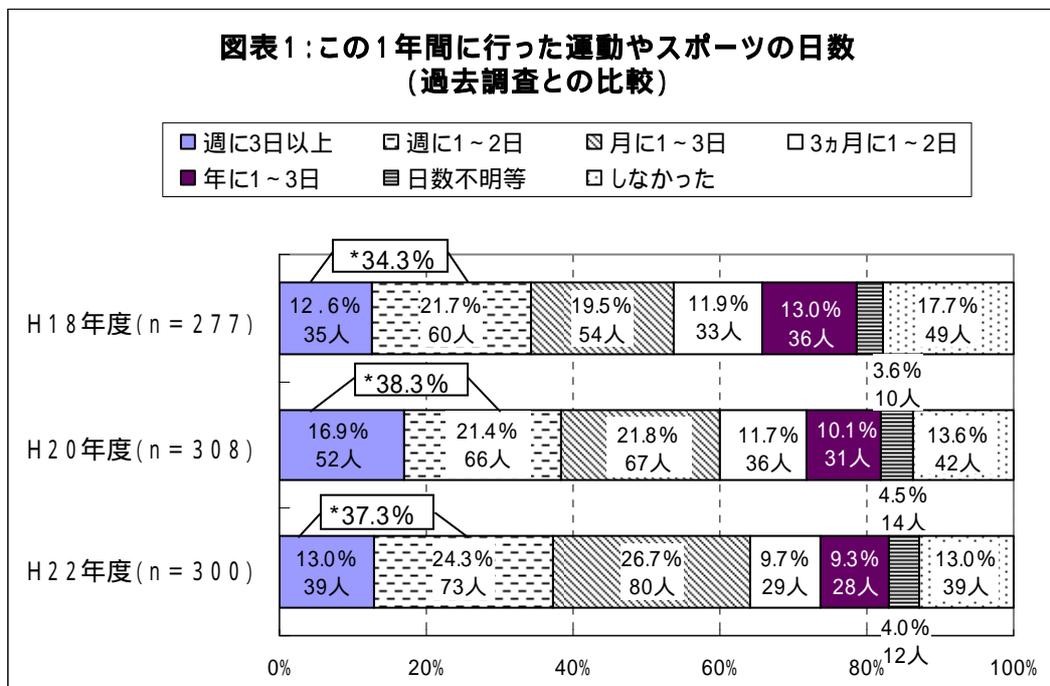
< 大規模スポーツイベントの開催について > P.10

- 大規模なスポーツイベントが開催されることについて尋ねたところ、「開催したほうがよい」の回答割合が9割を占め、平成20年度の調査よりも8.8ポイント増加した。
- 大規模スポーツイベントを「開催したほうがよい」と回答した268人に対し、そう思う理由を尋ねたところ、「臨場感あふれ、迫力あるプレーが楽しめる」の回答割合が56.7%、「県民のスポーツに対する関心を高めるのに役立つ」が56.3%であった。平成20年度の調査との比較では、「人が多く集まることにより経済の活性化に役立つ」の回答割合が8.7ポイント増加した一方、「臨場感あふれ、迫力あるプレーが楽しめる」が9.0ポイント減少した。

< この1年間に行った運動やスポーツの種目について > P.13

- 1年間に行った運動やスポーツを尋ねたところ、「ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）」の割合が49.0%で最も高かった。以下、「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス体操、縄跳びを含む）」が28.3%、「軽い球技（キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど）」が22.0%と続き、比較的軽い運動やスポーツが上位を占めた。

< この1年間に行った運動やスポーツの日数について > P.18



* 週1日以上 of スポーツ実施率・・・「週に3日以上」と「週に1~2日」を合算したもの

- 1年間に行った運動やスポーツの日数を尋ねたところ、「週に3日以上(年151日以上)」が13.0%、「週に1～2日(年51～150日)」が24.3%で両者を合わせた週1日以上のスポーツ実施率は、37.3%だった。(図表1)
- 平成20年度に実施した前回調査と比較すると、週1日以上のスポーツ実施率は1 減少したものの、月1日以上の実施率は60.1%から64.0%へと3.9 増加した。「運動やスポーツはしなかった」は年度を経るごとに減少した。(図表1)

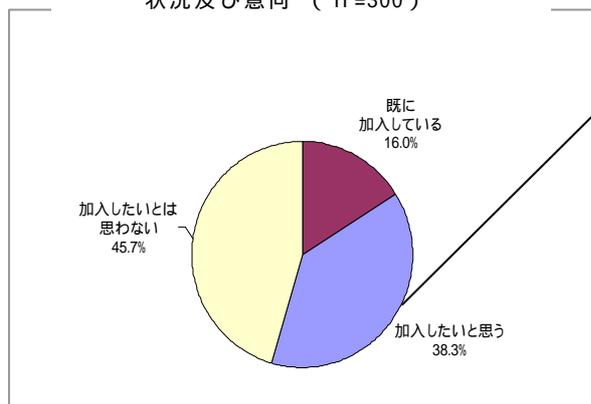
< 今後行ってみたい運動やスポーツについて > P.21

- 今後行ってみたい運動やスポーツについて尋ねたところ、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩などを含む)」との回答割合が49.3%で最も高かった。

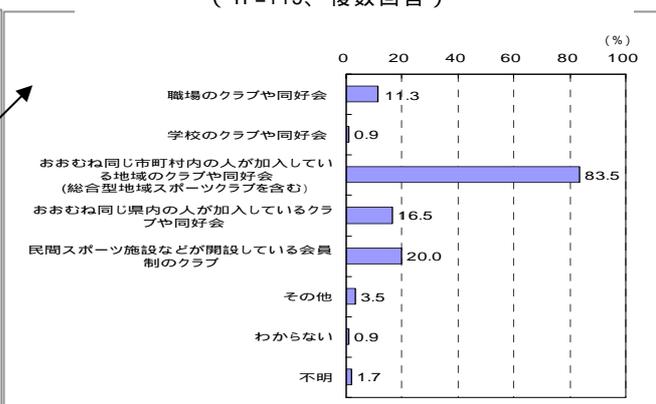
< 運動やスポーツのクラブまたは同好会について > P.24、P.28

- 運動やスポーツのクラブまたは同好会への加入状況と意向について尋ねたところ、「既に参加している」の回答割合が16.0%、「参加したいと思う」が38.3%であった。一方、「参加したいとは思わない」の回答割合は45.7%であった。(図表2)
- 運動やスポーツのクラブまたは同好会に「参加したいと思う」と回答した115人に対して、どのようなクラブまたは同好会に参加したいか尋ねたところ、「おおむね同じ市町村内の人が入っている地域のクラブや同好会(総合型地域スポーツクラブを含む)」の回答割合が約8割以上を占めた。(図表3)

図表2：クラブまたは同好会への加入状況及び意向 (n=300)



図表3：参加したいクラブまたは同好会の形態 (n=115、複数回答)



< 新潟県のスポーツ振興について > P.30

- スポーツ振興に向けて今後県にどのようなことに力を入れてもらいたいかを尋ねたところ、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」の回答割合が33.3%で最も高く、続いて「地域のクラブやサークルの育成」(31.0%)、「年齢層にあったスポーツの開発普及」(28.0%)、「各種スポーツ施設の整備」(22.7%)、「大規模スポーツイベントの誘致・開催」(23.7%)が上位を占めた。
- 平成20年度に実施した調査と比較すると、増加項目は「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、「大規模スポーツイベントの誘致・開催」、「地域のクラブやサークルの育成」、「スポーツに関する情報提供」、「スポーツボランティアの支援」などであった。一方、減少項目は「年齢層にあったスポーツの開発普及」、「学校体育施設の開放」などであった。

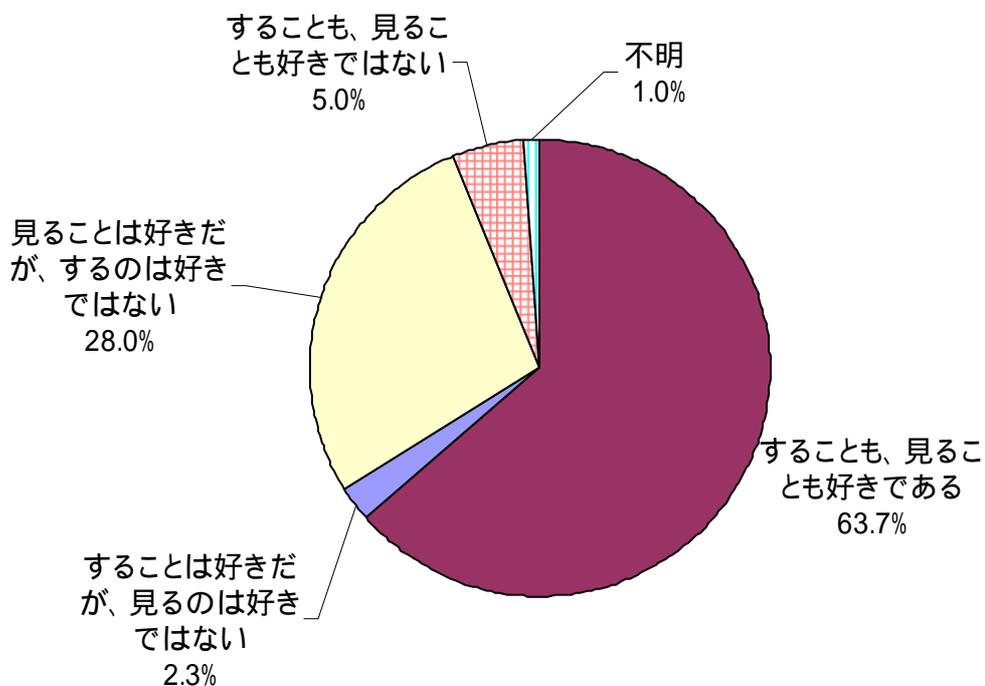
調査結果の概要

1. スポーツへの関心

問1：あなたは、スポーツが好きですか。（ は1つだけ）

n = 300人

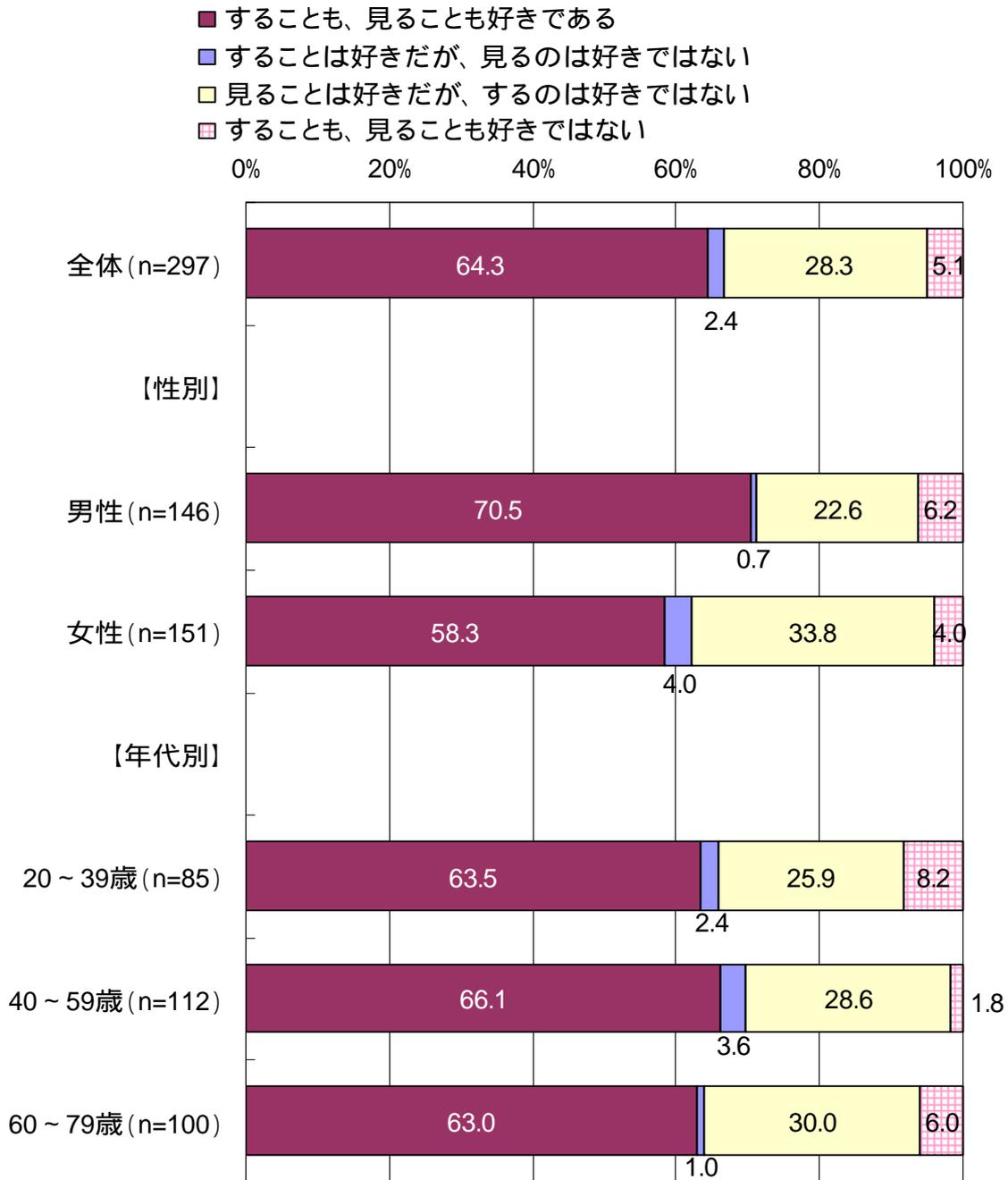
1	することも、見ることも好きである	191人	63.7%
2	することは好きだが、見るのは好きではない	7人	2.3%
3	見ることは好きだが、するのは好きではない	84人	28.0%
4	することも、見ることも好きではない	15人	5.0%
5	不明	3人	1.0%



コメント

スポーツは好きかを尋ねたところ、「することも、見ることも好きである」が63.7%（前回比9.2%増）、「見ることは好きだが、するのは好きでない」が28.0%（同6.4%減）、「することも、見ることも好きではない」が5.0%（同0.5%増）、「することは好きだが、見るのは好きでない」が2.3%（同0.9%減）、不明が1.0%であった。

【性・年代別】（不明を除く）



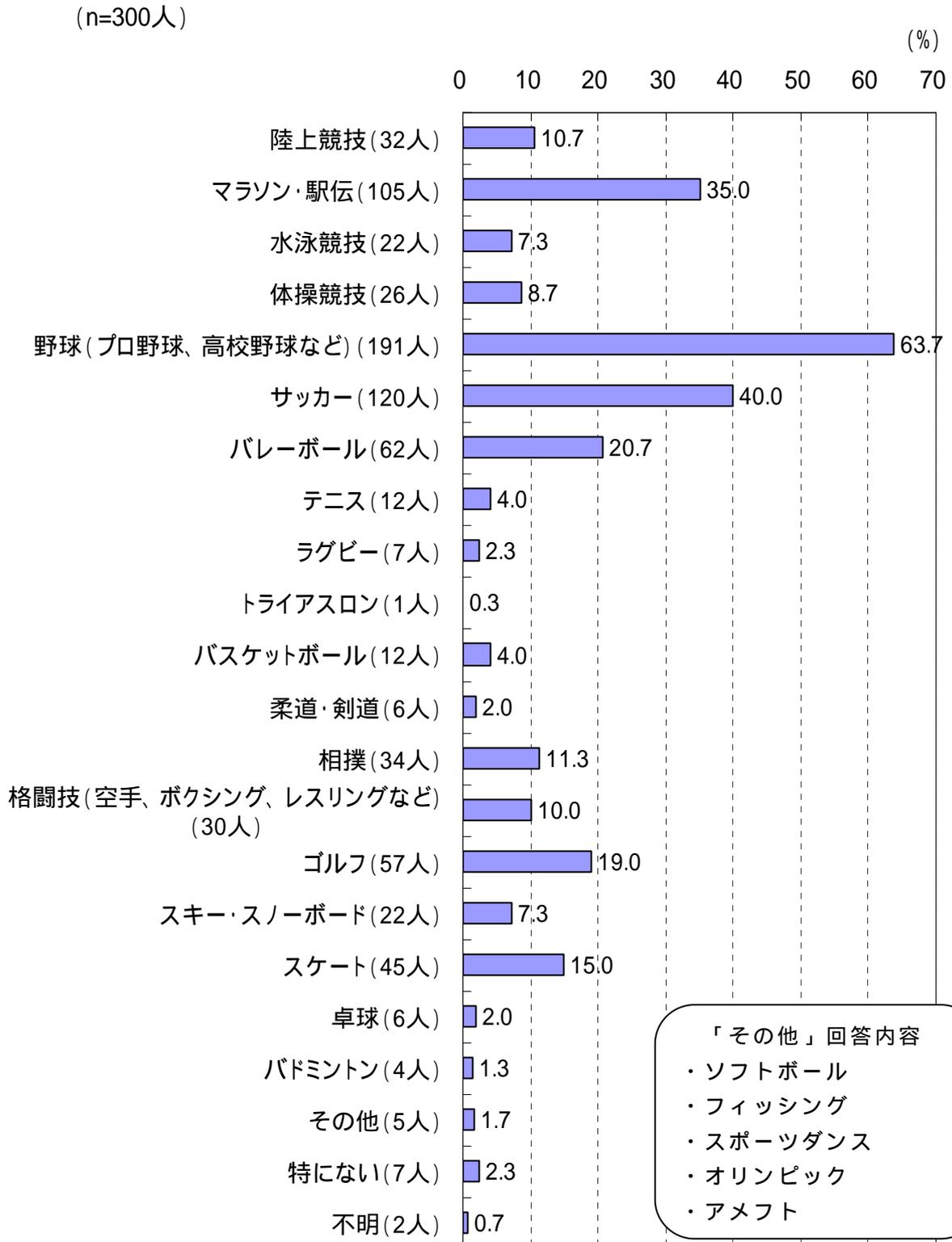
コメント

全体的に「することも見ることも好きである」の回答割合が高く、「男性」（70.5%）が「女性」（58.3%）を12.2%上回った。

年代別では、「することも見ることも好きである」の回答割合が「40～59歳」（66.1%）、「20～39歳」（63.5%）、「60～79歳」（63.0%）の順で高かった。

2. 関心のあるスポーツ

問2：見るスポーツについてお聞きします。あなたがテレビで見たり、ラジオで聴いたり、実際に観戦するスポーツの中で、特に関心のあるスポーツを以下よりお選びください。（ は3つまで）



コメント

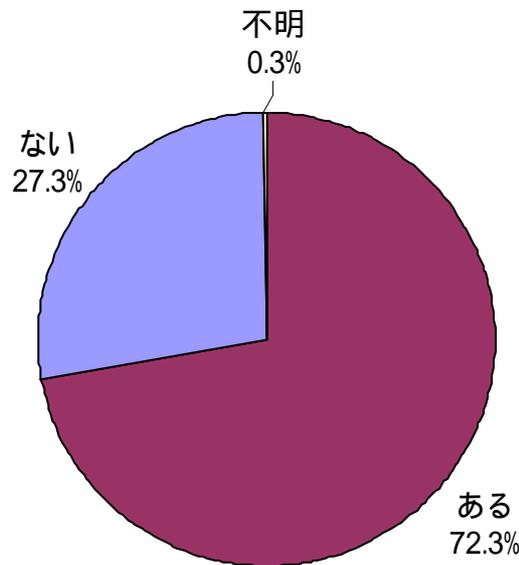
テレビで見たり、ラジオで聴いたり、実際に観戦するスポーツの中で、特に関心のあるスポーツについて尋ねたところ、「野球（プロ野球、高校野球など）」が63.7%（前回比17.9%増）で最も高かった。以下、「サッカー」が40.0%（同5.6%増）、「マラソン・駅伝」が35.0%（同4.9%増）、バレーボールが20.7%（同9.2%減）、ゴルフが19.0%（同8.3%増）が続いた。

3. スポーツ観戦について

.....
問3：あなたは、実際に会場でスポーツを観戦したことがありますか。
（ は1つだけ）
.....

n = 300人

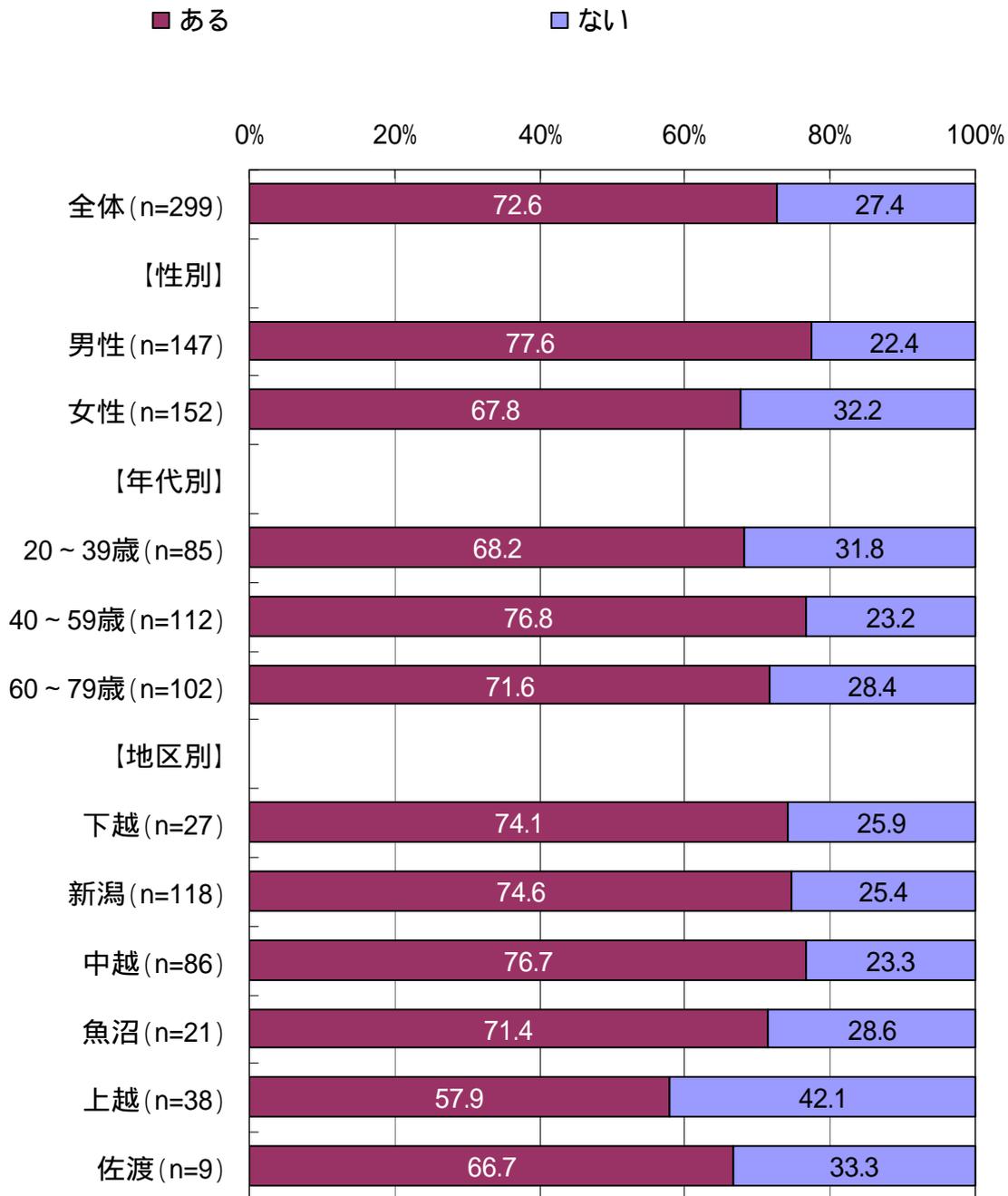
1	ある	217人	72.3%
2	ない	82人	27.3%
3	不明	1人	0.3%



コメント

実際に会場でのスポーツ観戦の有無を尋ねたところ、「ある」の回答割合は72.3%（前回比0.9%増）、「ない」は27.3%（同0.6%減）、不明は0.3%であった。

【性・年代・地区別】（不明を除く）



コメント

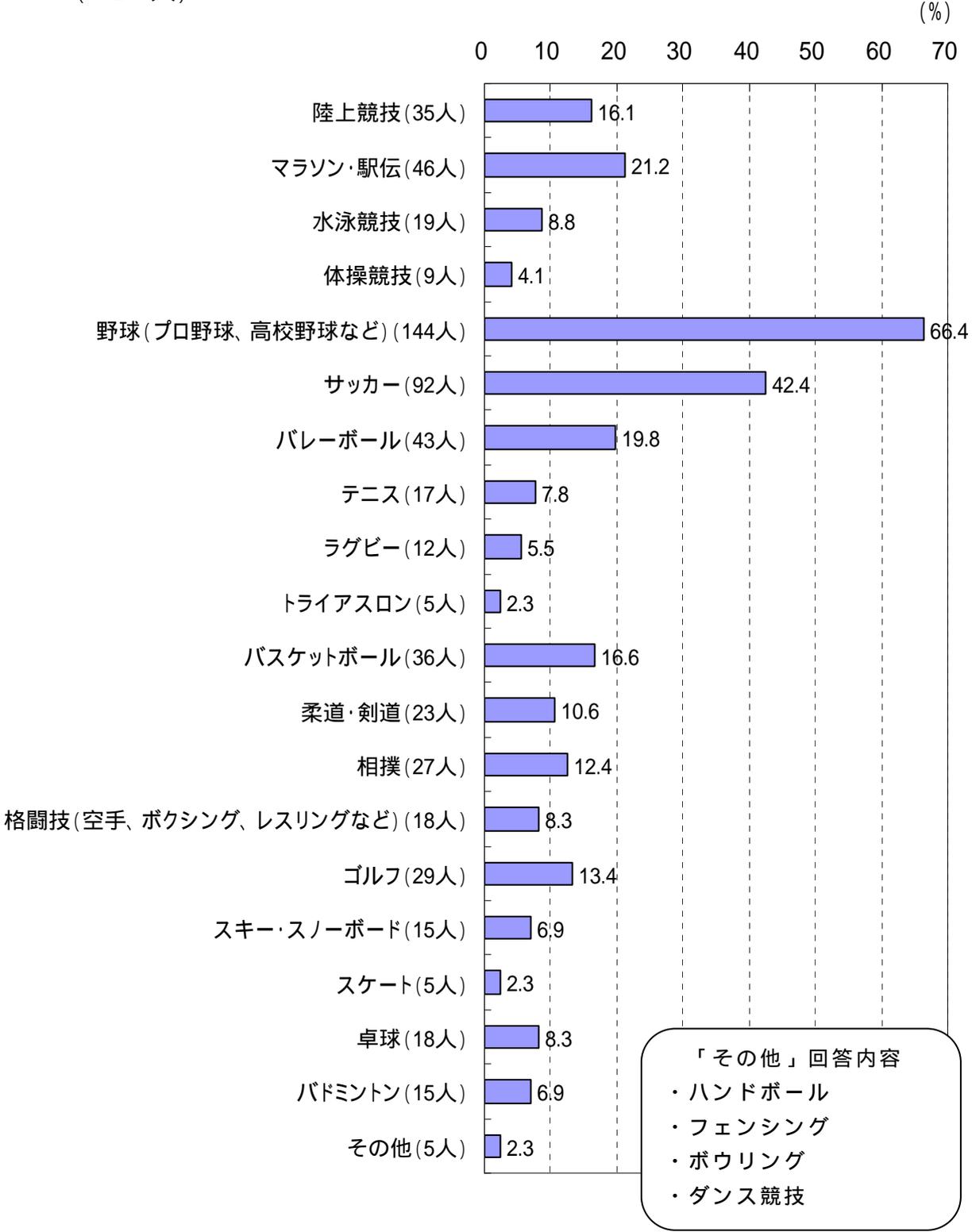
全体的に「ある」の回答割合が高く、「男性」（77.6%）が「女性」（67.8%）を9.8%上回った。

年代別では、「ある」の回答割合が「40～59歳」（76.8%）、「60～79歳」（71.6%）、「20～39歳」（68.2%）の順で高かった。

地区別では、下越地区、新潟地区、中越地区で約75%、魚沼地区で約71%、佐渡地区で約67%、上越地区で約58%であった。

.....
 ● 会場でスポーツ観戦をしたことが「ある」方へ
 ● 問3 - 1 : あなたが観戦したのは、以下のどのスポーツですか。(はいいくつでも)
 ●

(n=217人)



コメント

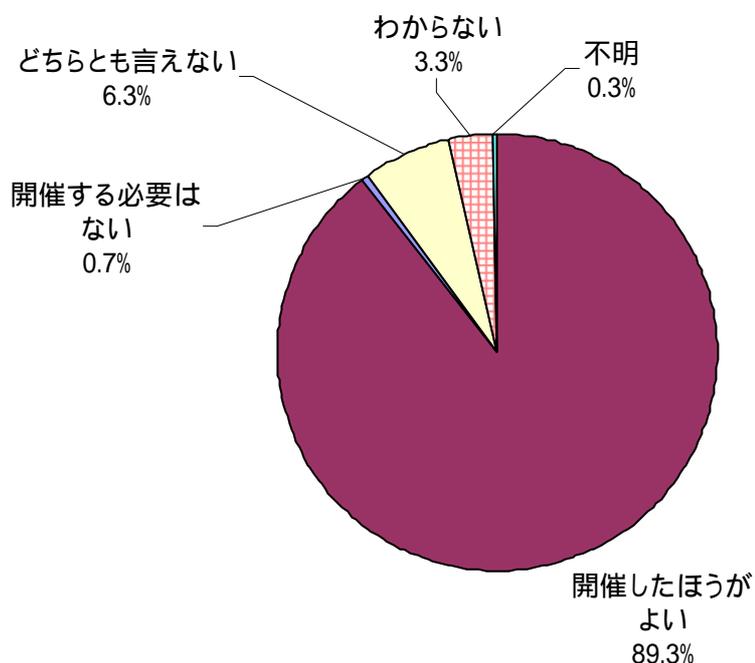
実際に会場でスポーツを観戦したことが「ある」と回答した217人に対し、観戦したスポーツを尋ねたところ、「野球（プロ野球、高校野球など）」の回答割合が66.4%（前回比3.2%増）と最も高かった。以下、「サッカー」が42.4%（同2.1%減）、「マラソン・駅伝」が21.2%（同4.4%増）、「バレーボール」が19.8%（同5.7%増）、「バスケットボール」が16.6%（同0.7%増）の順で高かった。

4．大規模スポーツイベントの開催について

問4：あなたは、新潟県内でプロスポーツイベント（サッカー、バスケットボール、野球など）や、国内外のトップクラスの選手・チームが参加する大規模なスポーツイベントが開催されることについて、どう思いますか。
（ は1つだけ）

n = 300人

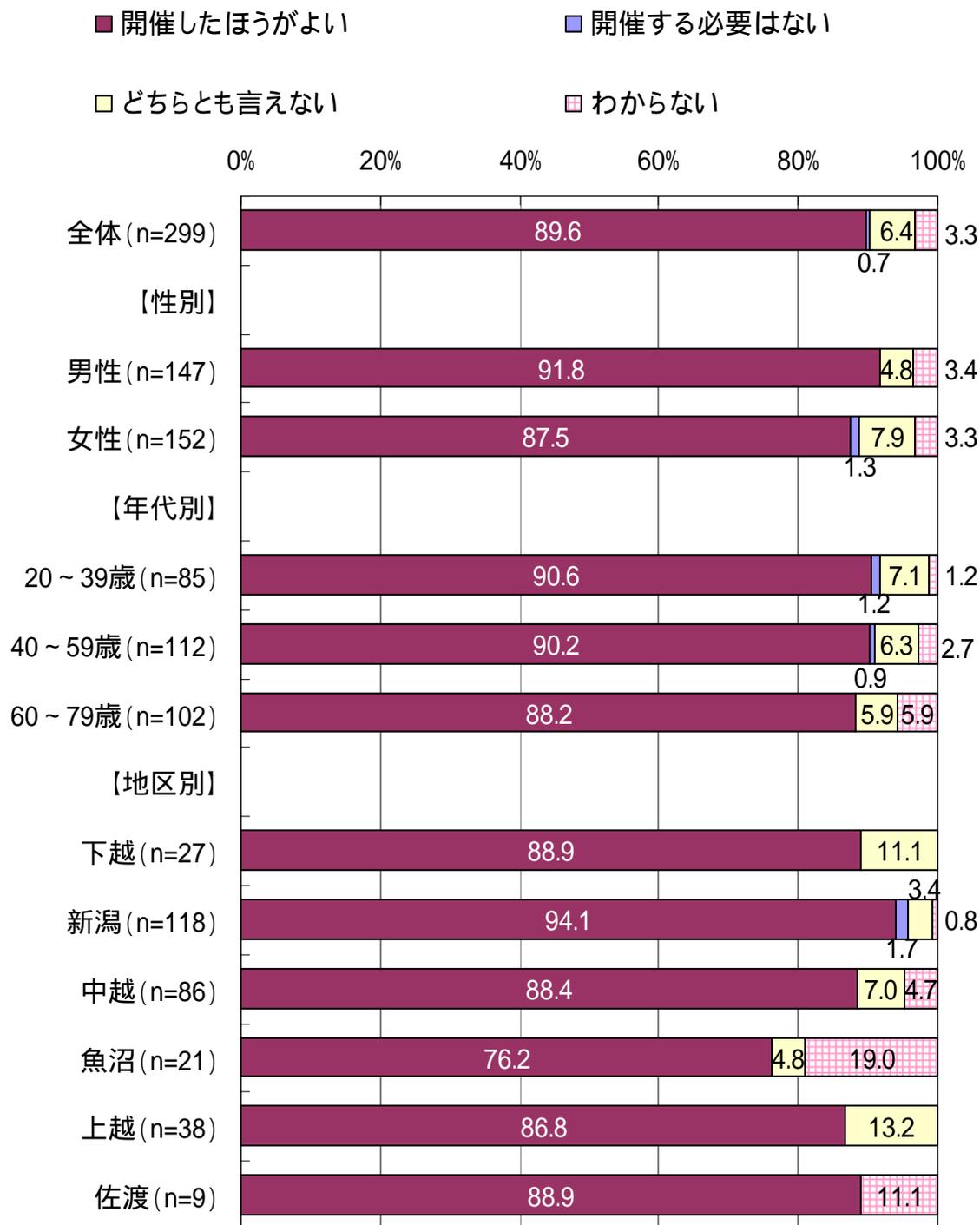
1	開催したほうがよい	268人	89.3%
2	開催する必要はない	2人	0.7%
3	どちらとも言えない	19人	6.3%
4	わからない	10人	3.3%
5	不明	1人	0.3%



コメント

大規模なスポーツイベントが開催されることについて尋ねたところ、「開催したほうがよい」の回答割合が89.3%（前回比8.8%増）を占め、「どちらとも言えない」が6.3%（同6.7%減）、「開催する必要はない」が0.7%（同2.2%減）、「わからない」が3.3%（同1.0%増）だった。「不明」は0.3%であった。

【性・年代・地区別】（不明を除く）



コメント

全体的に「開催したほうがよい」の回答割合がかなり高く、「男性」（91.8%）が「女性」（87.5%）を4.3%上回った。

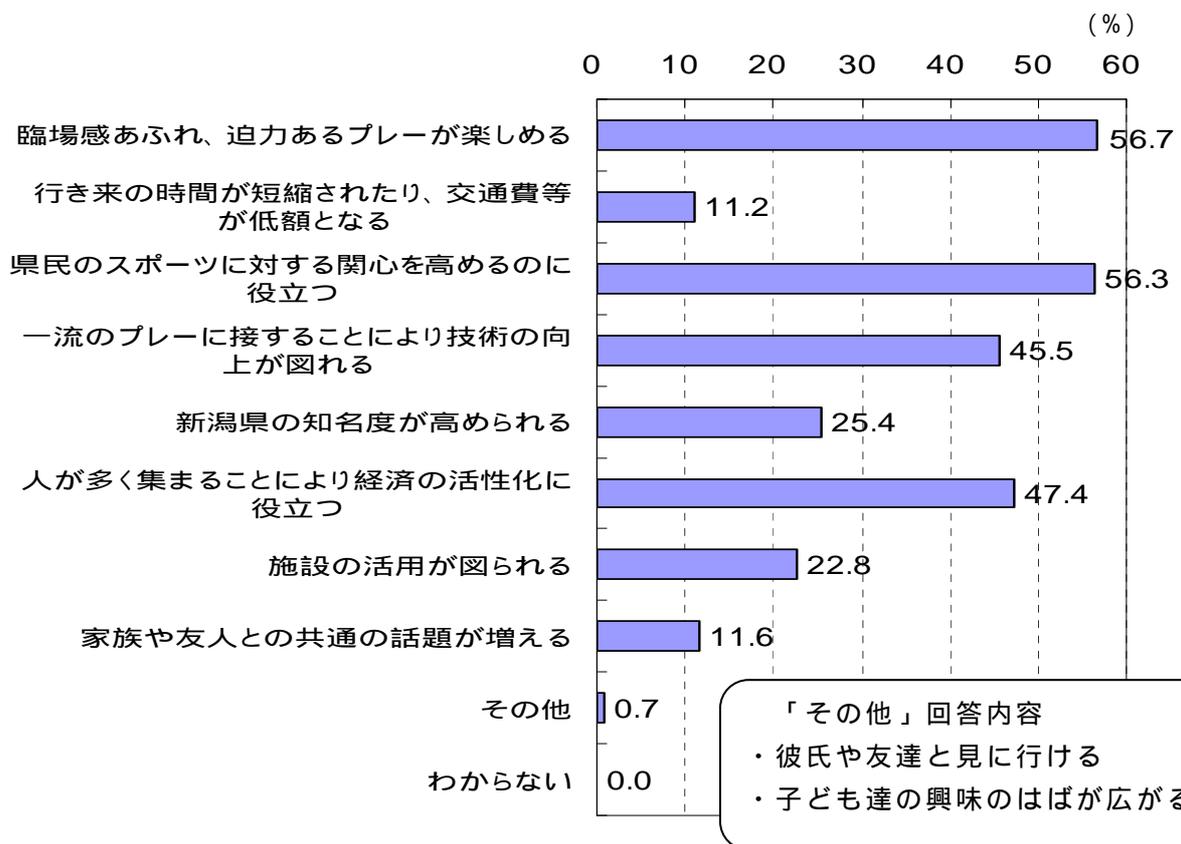
年代別では、「開催したほうがよい」の回答割合が、どの年代層でも約9割を占めた。地区別では、「新潟地区」で約95%、「魚沼地区」で約76%であり、その他の地区では約9割を占めた。

大規模スポーツイベントを「開催したほうがよい」と思う方へ

問4 - 1：開催した方がよいと思う理由は何ですか。（ は3つまで）

n = 268人

1	臨場感あふれ、迫力あるプレーが楽しめる	152人	56.7%
2	行き来の時間が短縮されたり、交通費等が低額となる	30人	11.2%
3	県民のスポーツに対する関心を高めるのに役立つ	151人	56.3%
4	一流のプレーに接することにより技術の向上が図れる	122人	45.5%
5	新潟県の知名度が高められる	68人	25.4%
6	人が多く集まることにより経済の活性化に役立つ	127人	47.4%
7	施設の活用が図られる	61人	22.8%
8	家族や友人との共通の話題が増える	31人	11.6%
9	その他	2人	0.7%
10	わからない	0人	0.0%



コメント

大規模スポーツイベントを「開催した方がよい」と回答した268人に対し、そう思う理由を尋ねたところ、「臨場感あふれ、迫力あるプレーが楽しめる」の回答割合が56.7%（前回比9%減）、「県民のスポーツに対する関心を高めるのに役立つ」が56.3%（同2.7%増）と高かった。以下、「人が多く集まることにより経済の活性化に役立つ」が47.4%（同8.7%増）、「一流のプレーに接することにより技術の向上が図れる」が45.5%（同1.5%増）で続いた。

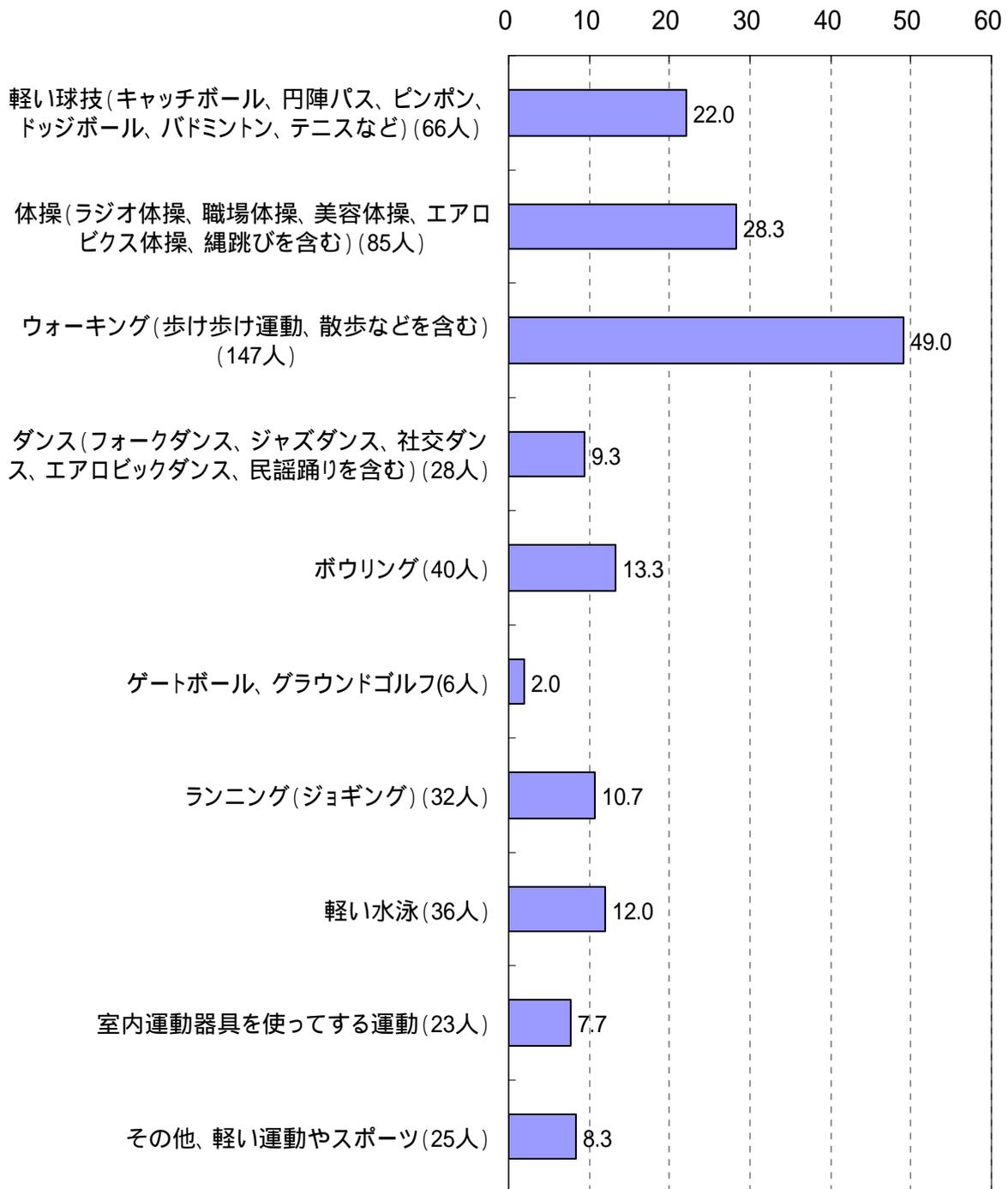
5 . この1年間に行った運動やスポーツについて

問5：あなたは、この1年間にどのような運動やスポーツを行いましたか。
 (はいくつでも)
 学校の体育の授業として行ったものや、職業として行ったものは除きます。

【比較的軽い運動やスポーツ】

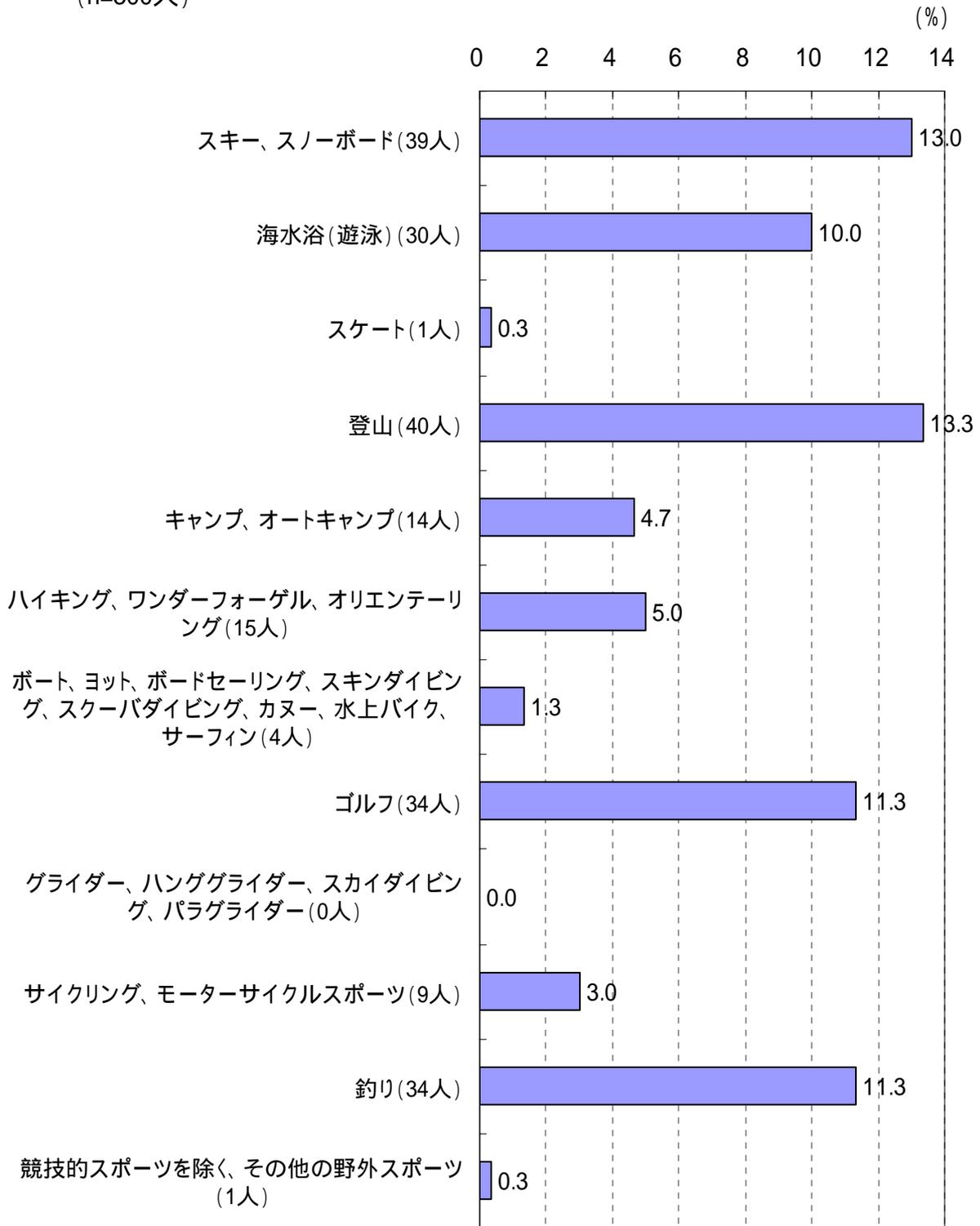
(n=300人)

(%)



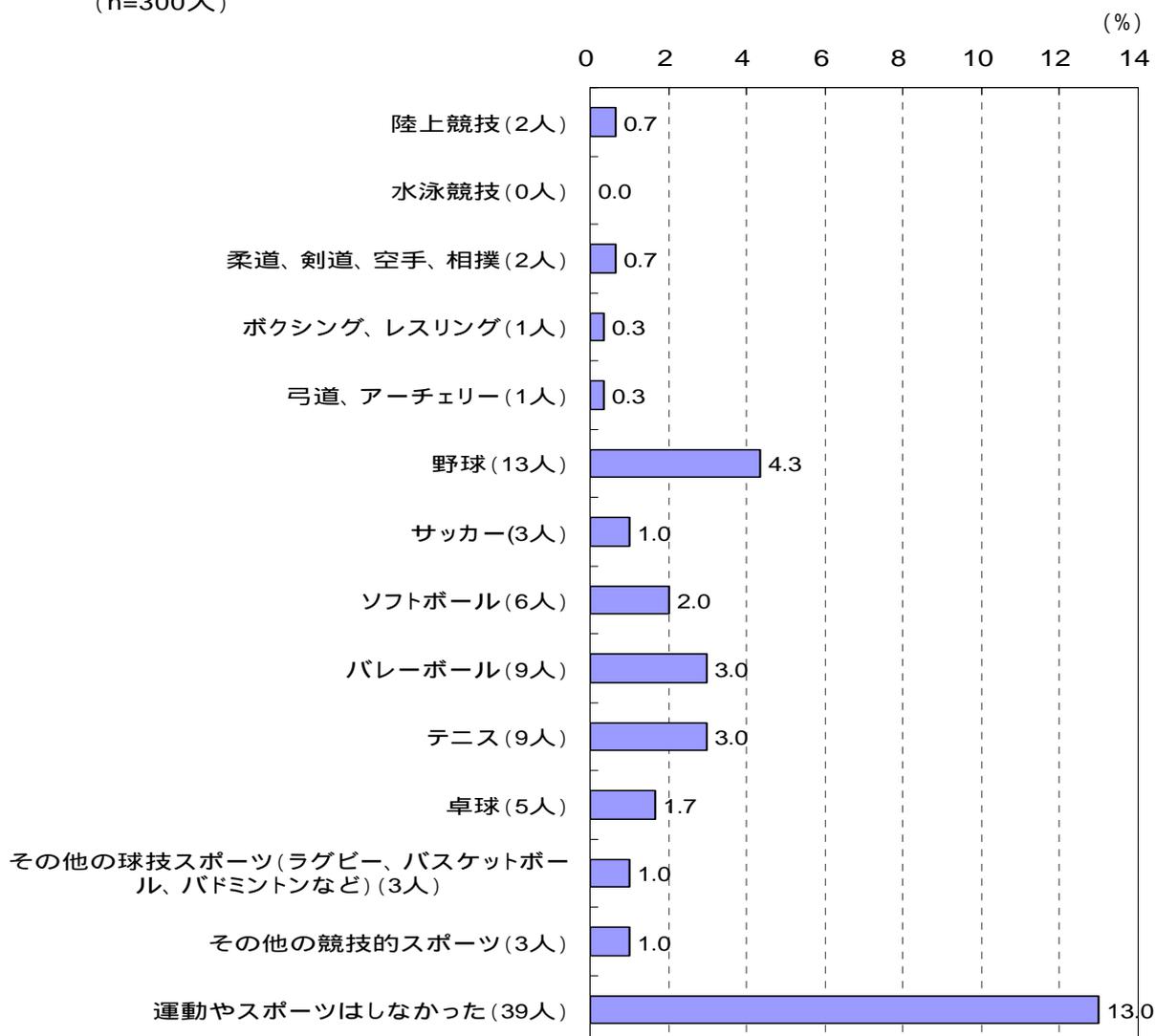
【比較的広域にわたる野外スポーツ】

(n=300人)



【競技的スポーツ】

(n=300人)



コメント

この1年間に行った運動やスポーツを尋ねたところ、「ウォーキング（歩け歩け運動、散歩などを含む）」の回答割合が49.0%（前回比2.6%増）で最も高かった。以下、「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス体操、縄跳びを含む）」が28.3%（同4.2%減）、「軽い球技（キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど）」が22.0%（同6.1%増）とつづき、軽い運動やスポーツが上位を占めた。

比較的広域にわたる野外スポーツでは、「登山」が13.3%（前回比1.0%増）、「スキー、スノーボード」が13.0%（同1.3%増）、「ゴルフ」が11.3%（同0.6%増）、「釣り」が11.3%（同1.9%増）の順で続いた。

競技的スポーツでは、「野球」が4.3%（前回比1.1%増）、「バレーボール」が3.0%（同0.7%増）、「テニス」が3.0%（同2.4%増）などとなっている。

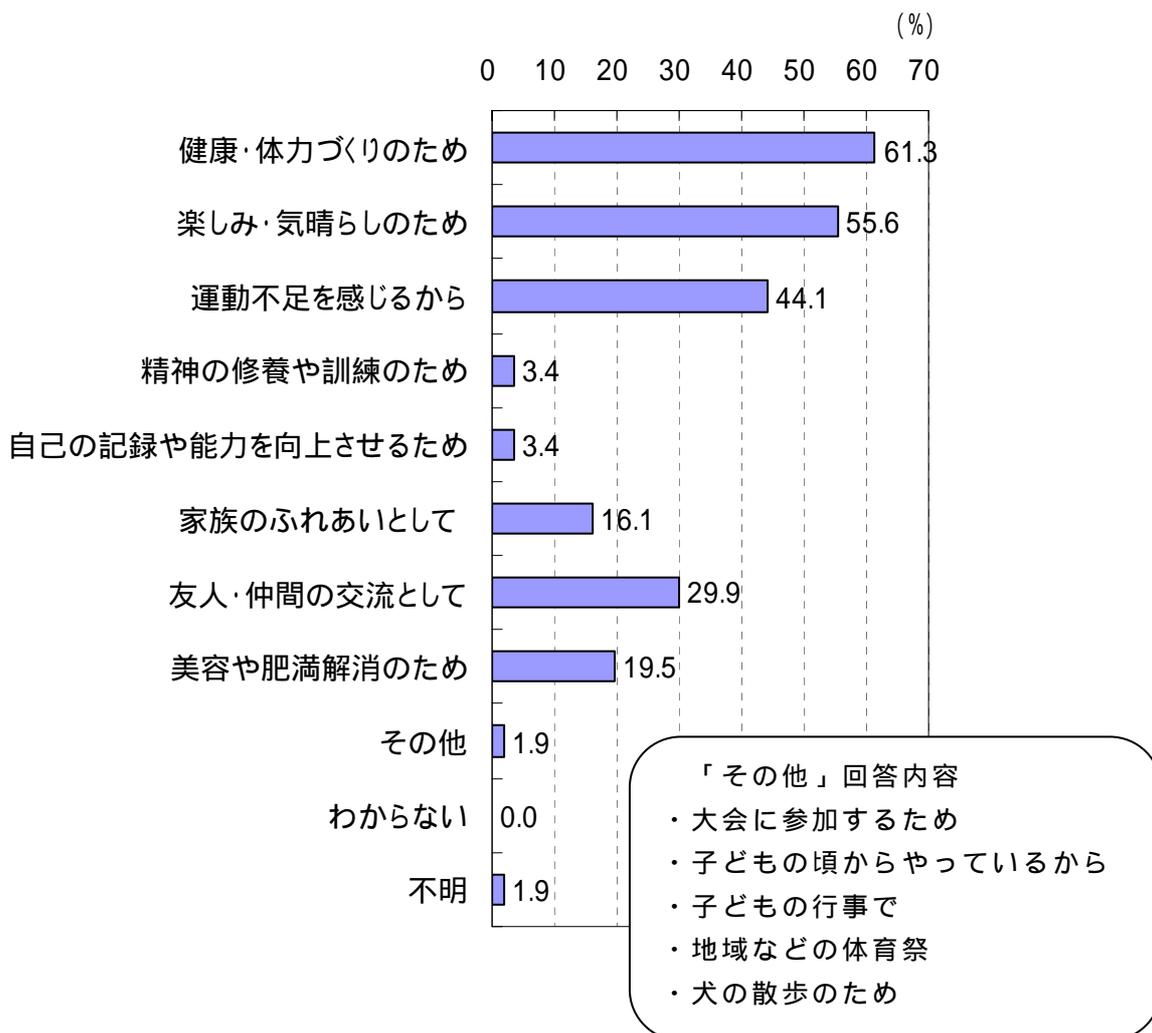
「運動やスポーツはしなかった」は13.0%（前回比0.6%減）と減少し、年度を経るごとに減少している。

この1年間に何らかの運動やスポーツを行った方へ

問5 - 1 : あなたが、その運動やスポーツを行ったのは、どのような理由からですか。(は3つまで)

n = 261人

1	健康・体力づくりのため	160人	61.3%
2	楽しみ・気晴らしのため	145人	55.6%
3	運動不足を感じるから	115人	44.1%
4	精神の修養や訓練のため	9人	3.4%
5	自己の記録や能力を向上させるため	9人	3.4%
6	家族のふれあいとして	42人	16.1%
7	友人・仲間の交流として	78人	29.9%
8	美容や肥満解消のため	51人	19.5%
9	その他	5人	1.9%
10	わからない	0人	0.0%
11	不明	5人	1.9%



コメント

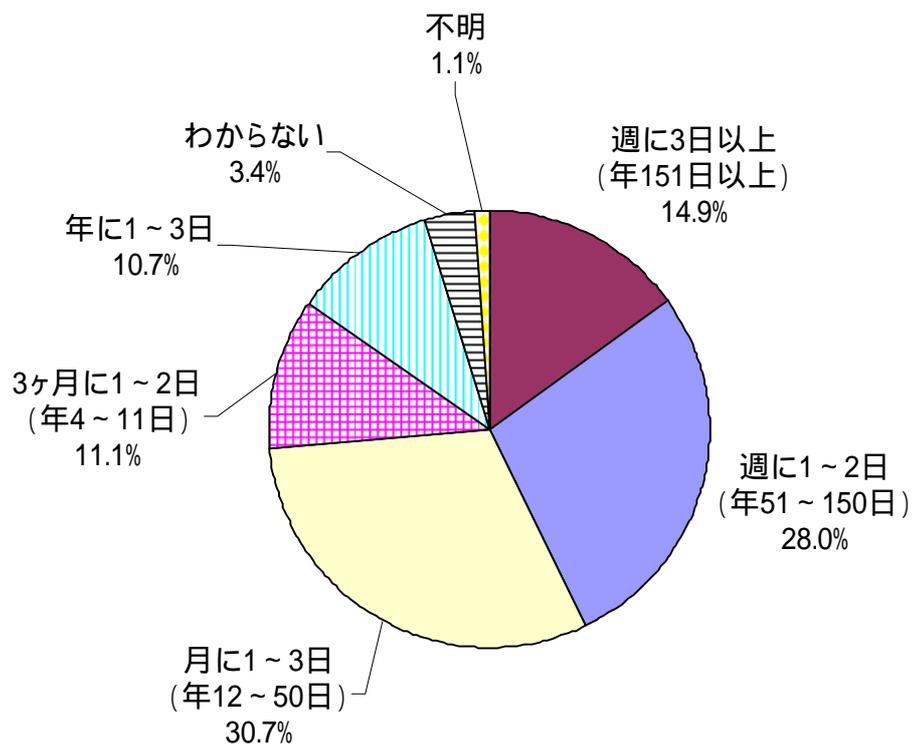
この1年間に何らかの運動やスポーツを行ったと回答した261人に対し、運動やスポーツを行った理由を尋ねたところ、「健康・体力づくりのため」の回答割合が61.3%（前回比3.8%増）で最も高かった。以下、「楽しみ・気晴らしのため」が55.6%（同1.1%増）、「運動不足を感じるから」が44.1%（同1.0%増）、「友人・仲間との交流として」が29.9%（同2.8%減）で続いた。

この1年間に何らかの運動やスポーツを行った方へ

問5 - 2 : あなたが、その運動やスポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。(は1つだけ)

n = 261人

1	週に3日以上 (年151日以上)	39人	14.9%
2	週に1~2日 (年51~150日)	73人	28.0%
3	月に1~3日 (年12~50日)	80人	30.7%
4	3ヶ月に1~2日 (年4~11日)	29人	11.1%
5	年に1~3日	28人	10.7%
6	わからない	9人	3.4%
7	不明	3人	1.1%



コメント

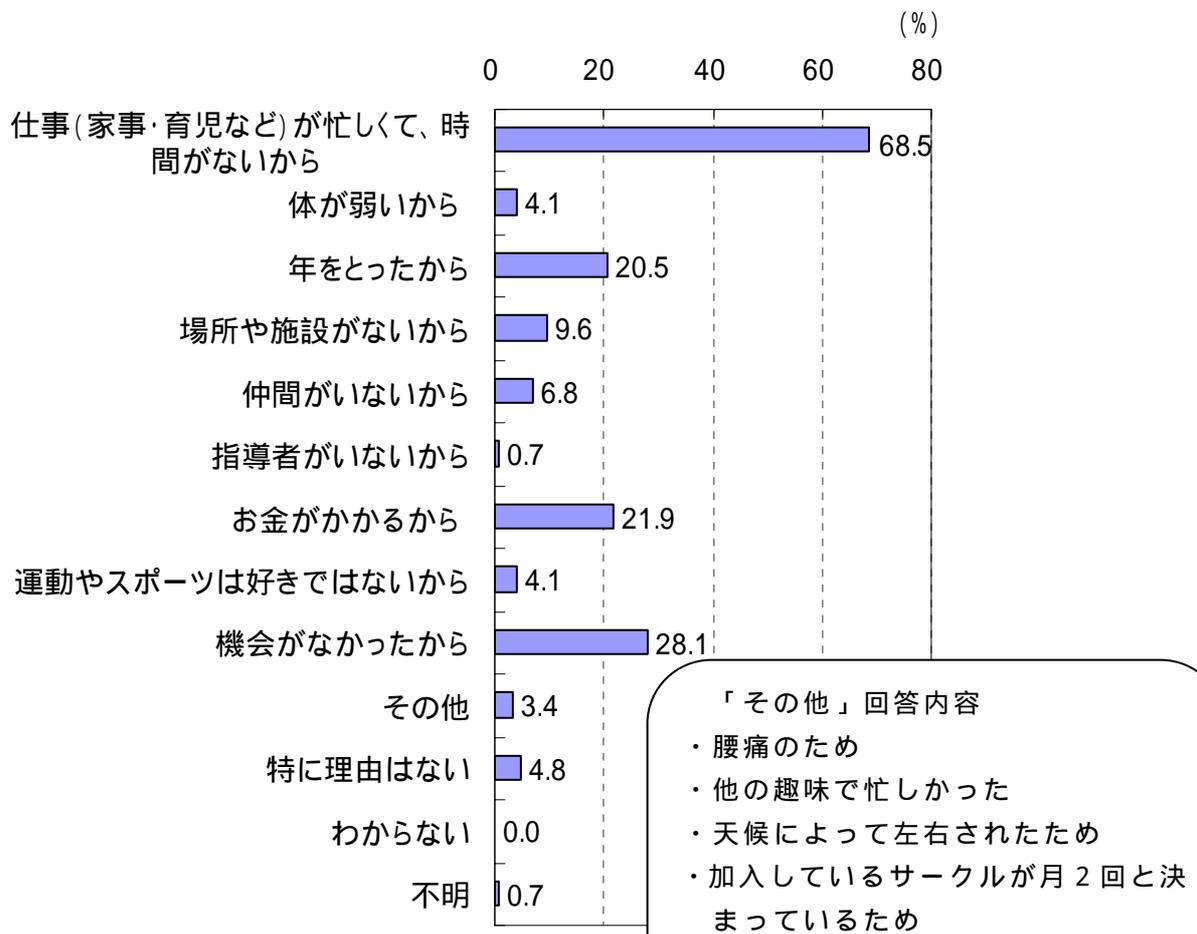
この1年間に何らかの運動やスポーツを行ったと回答した261人に対して、1年間の運動やスポーツを行った日数を尋ねたところ、「週に3日以上(年151日以上)」が39人、「週に1~2日(年51日~150日)」が73人だった。

「運動やスポーツをしなかった」(39人)を含む全回答者数(300人)に対する割合は、「週に3日以上(年151日以上)」が13.0%、「週に1~2日(年51~150日)」が24.3%で両者を合わせた週1日以上のスポーツ実施率は、37.3%(前回比1.0%減)だった。

この1年間に何らかの運動やスポーツを行ったが、週1日以上は行わなかった方へ
 問5 - 3 : あなたが、週1日以上運動やスポーツを行わなかったのは、どのような理由からですか。(は3つまで)

n = 146人

1	仕事(家事・育児など)が忙しくて、時間がないから	100人	68.5%
2	体が弱いから	6人	4.1%
3	年をとったから	30人	20.5%
4	場所や施設がないから	14人	9.6%
5	仲間がないから	10人	6.8%
6	指導者がいないから	1人	0.7%
7	お金がかかるから	32人	21.9%
8	運動やスポーツは好きではないから	6人	4.1%
9	機会がなかったから	41人	28.1%
10	その他	5人	3.4%
11	特に理由はない	7人	4.8%
12	わからない	0人	0.0%
13	不明	1人	0.7%



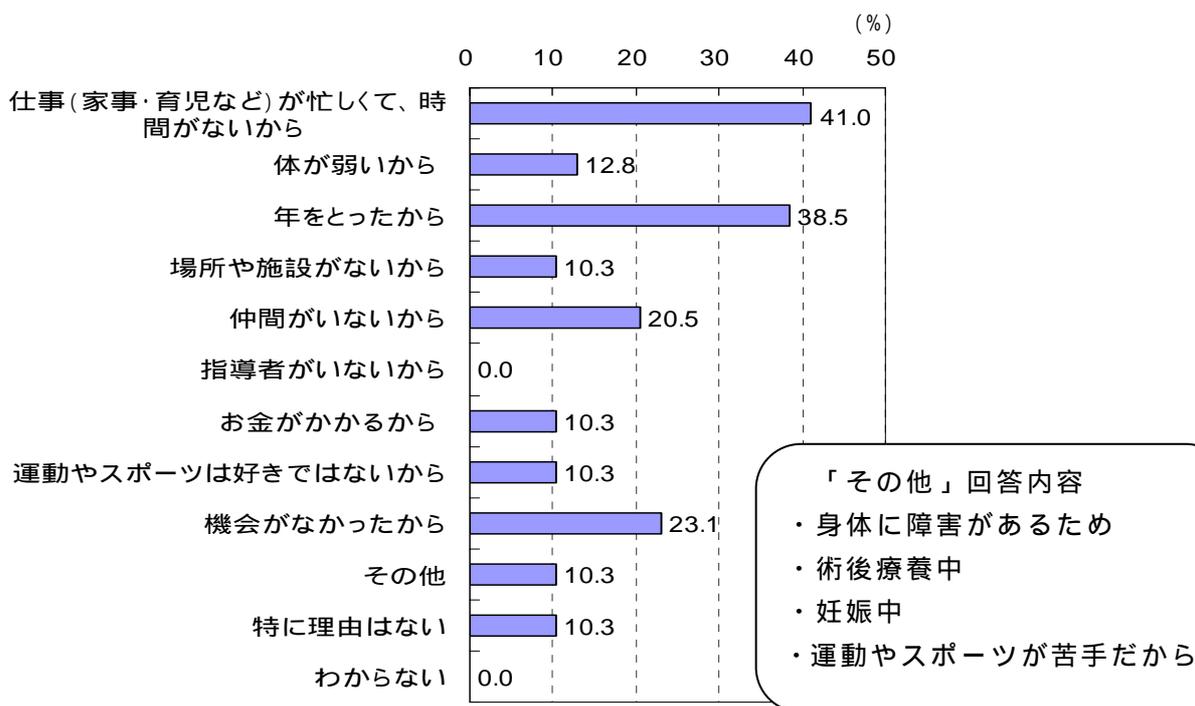
コメント

週に1日以上運動やスポーツを行わなかったと回答した146人に対して、その理由を尋ねたところ、「仕事（家事・育児など）が忙しくて、時間がないから」の回答割合が68.5%（前回比1.6%増）で他を大きく上回った。次に「機会がなかったから」が28.1%（同0.1%減）で続いた。

この1年間に「運動やスポーツはしなかった」方へ
 問5 - 4：あなたが、この1年間に運動やスポーツを行わなかったのは、どのような理由からですか。（ は3つまで）

n = 39人

1	仕事（家事・育児など）が忙しくて、時間がないから	16人	41.0%
2	体が弱いから	5人	12.8%
3	年をとったから	15人	38.5%
4	場所や施設がないから	4人	10.3%
5	仲間がいないから	8人	20.5%
6	指導者がいないから	0人	0.0%
7	お金がかかるから	4人	10.3%
8	運動やスポーツは好きではないから	4人	10.3%
9	機会がなかったから	9人	23.1%
10	その他	4人	10.3%
11	特に理由はない	4人	10.3%
12	わからない	0人	0.0%



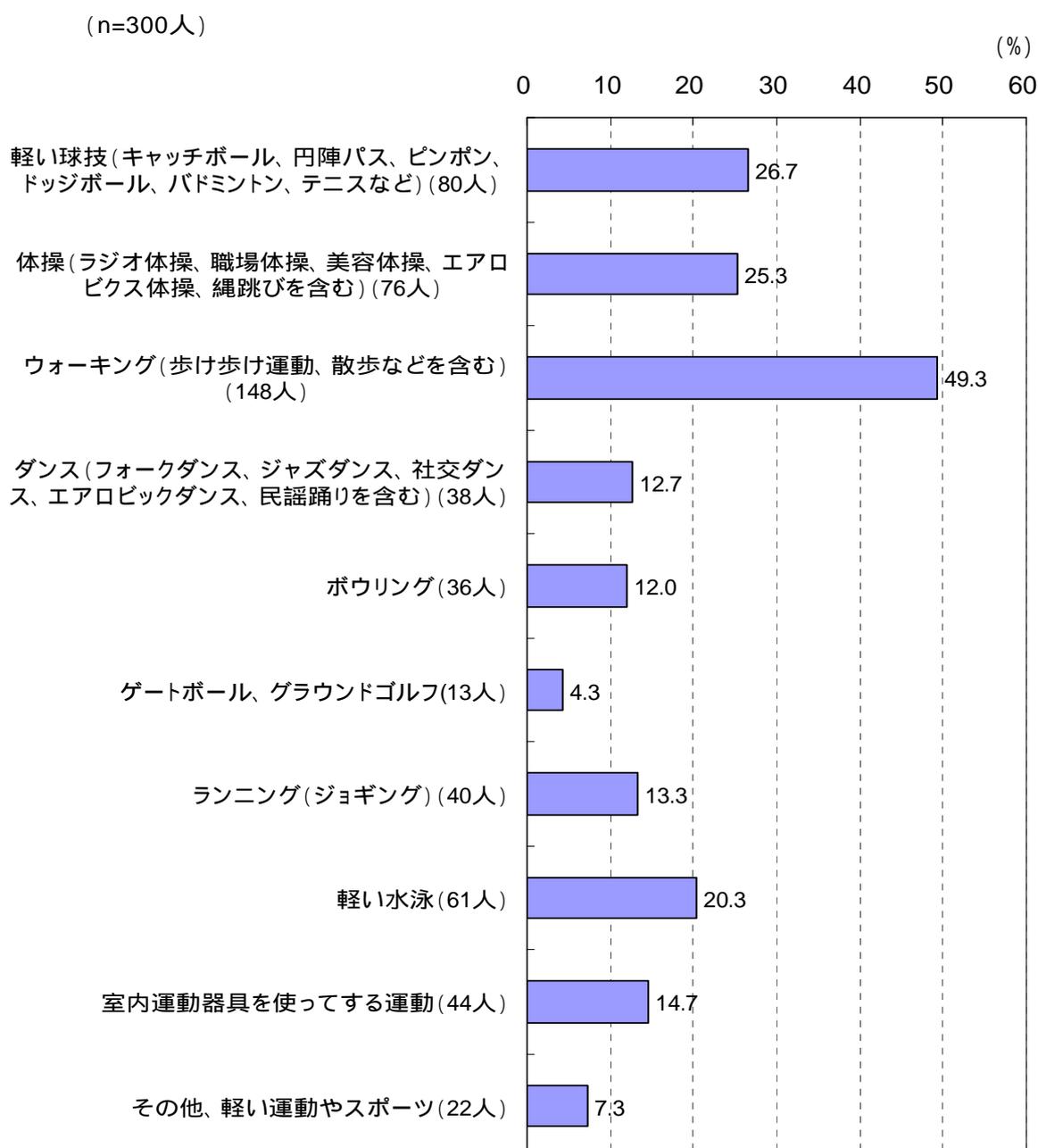
コメント

この1年間に「運動やスポーツはしなかった」と回答した39人に対して、その理由を尋ねたところ、「仕事（家事・育児など）が忙しくて、時間がないから」が41.0%（前回比1.9%減）で最も高い割合であった。以下、「年をとったから」が38.5%（同2.0%減）、「機会がなかったから」（同5.5%減）が続いた。

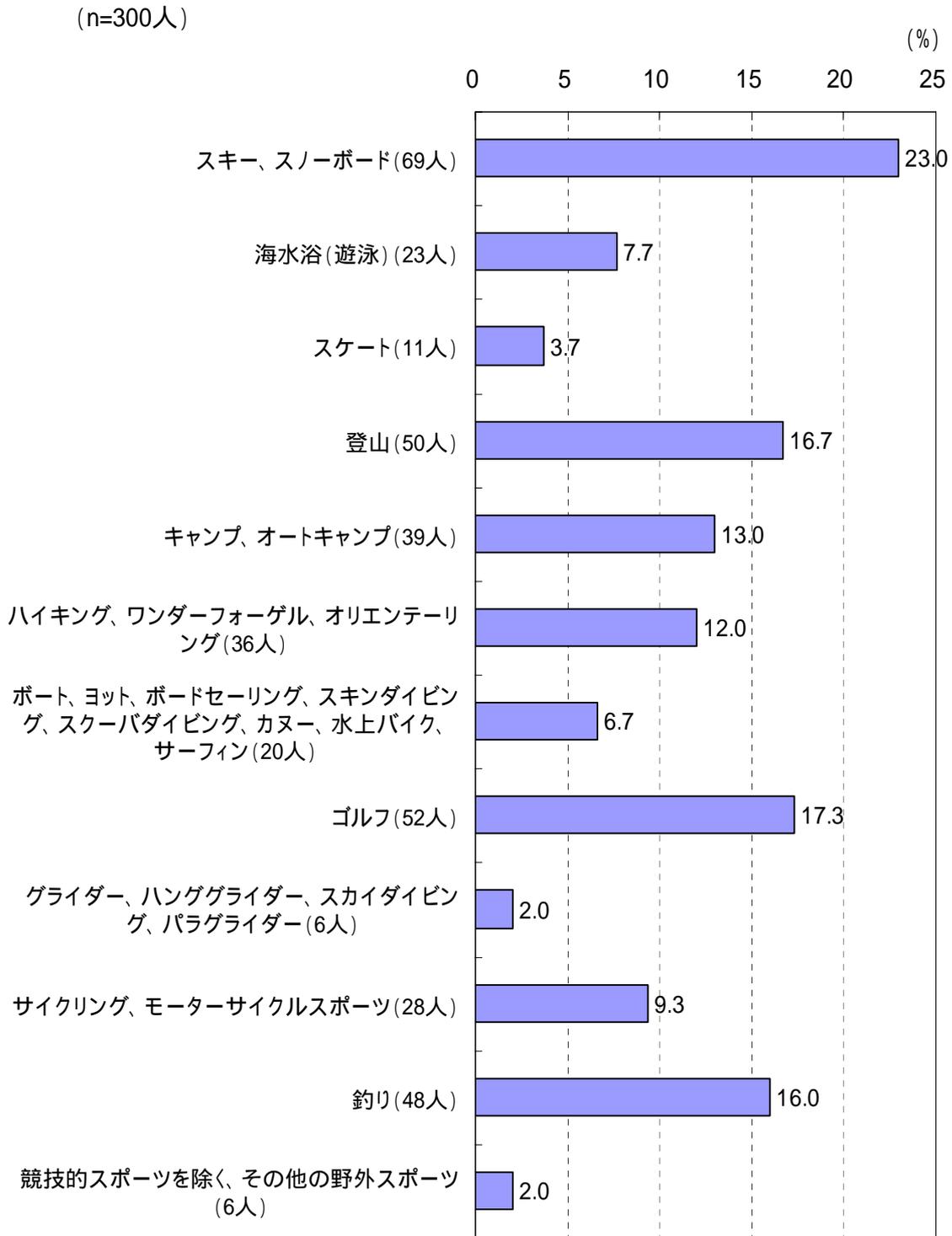
6. 今後行ってみたい運動やスポーツ

問6：あなたは、現在行っているものを含めて、今後行ってみたいと思う運動やスポーツはありますか。（はいいくつでも）

【比較的軽い運動やスポーツ】

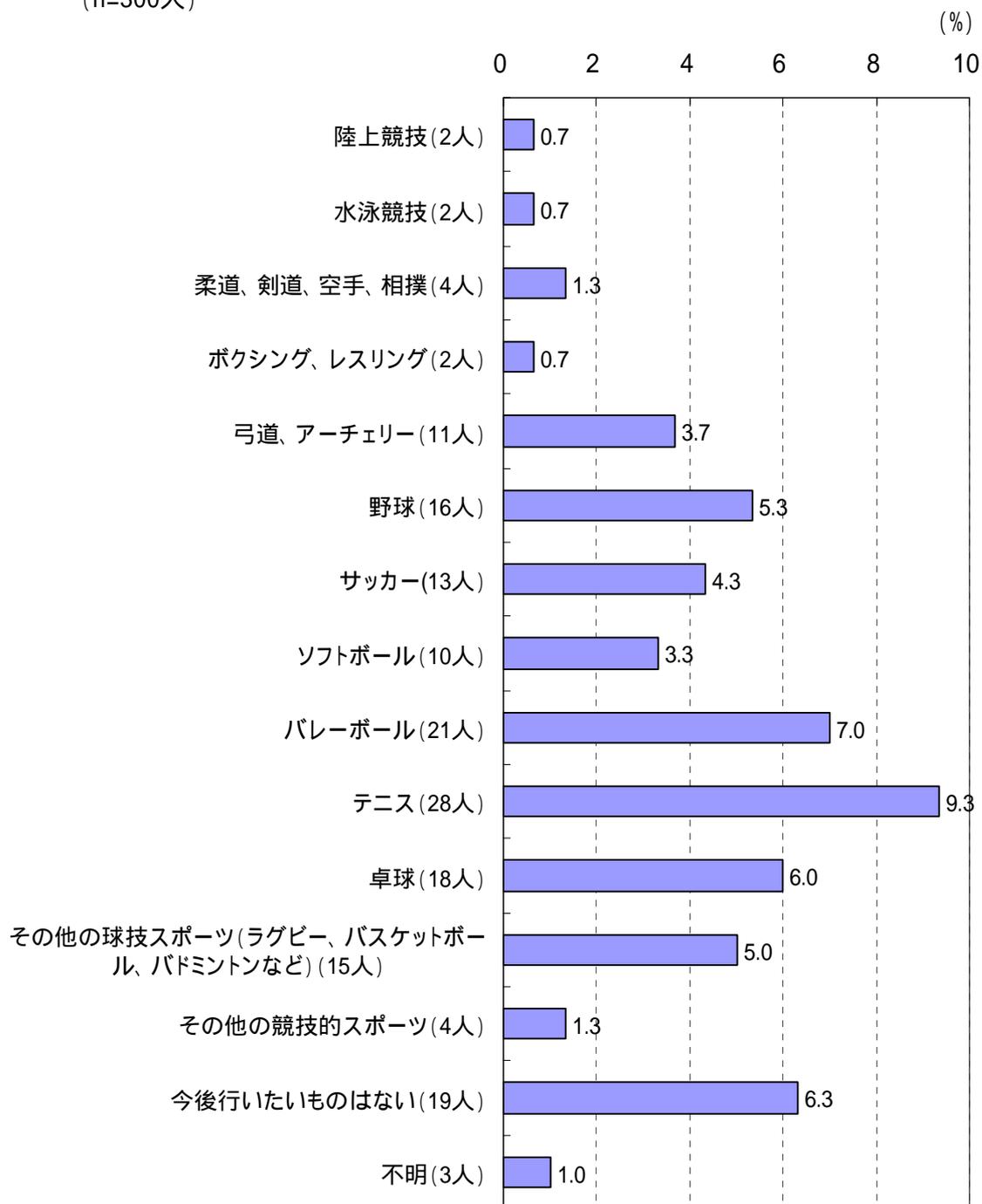


【比較的広域にわたる野外スポーツ】



【競技的スポーツ】

(n=300人)



コメント

今後行ってみたい運動やスポーツについて尋ねたところ、「ウォーキング(歩け歩け運動、散歩など含む)」の回答割合が49.3%(前回比7.7%増)で最も高かった。以下、「軽い球技(キャッチボール、円陣パス、ピンポン、ドッジボール、バドミントン、テニスなど)」が26.7%(同3.6%減)、「体操(ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス体操、縄跳びを含む)」が25.3%(同5.2%減)と比較的軽い運動が上位を占めた。比較的広域にわたる野外スポーツでは、「スキー・スノーボード」が23.0%(前回比4.8%増)、「ゴルフ」が17.3%(同1.7%増)、「登山」が16.7%(同1.2%減)、「釣り」

が16.0%（同1.7%増）の順で続いた。

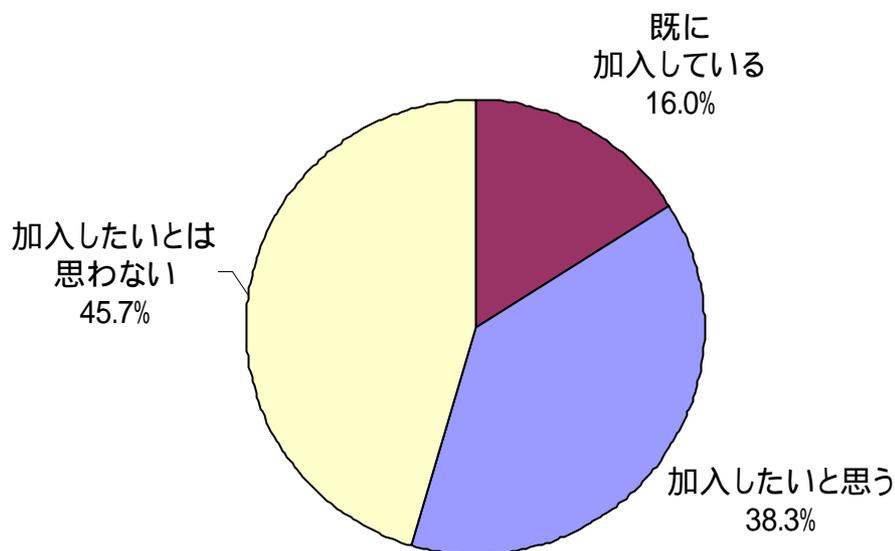
競技的スポーツでは、「テニス」が9.3%（前回比2.2%増）、「バレーボール」が7.0%（同1.5%増）、「卓球」が6.0%（同0.2%減）などが上位を占めた。

7. 運動やスポーツのクラブまたは同好会について

問7：自分の好きな運動やスポーツのクラブまたは同好会（総合型地域スポーツクラブを含む）があれば、あなたは加入したいと思いますか。（は1つだけ）
総合型地域スポーツクラブ・・・子どもから高齢者まで、その趣味や技術レベルなどに応じて様々なスポーツ活動に気軽に参加できる新しいスポーツクラブの形態で、地域住民が主体となって設立や運営にあたります。

n = 300人

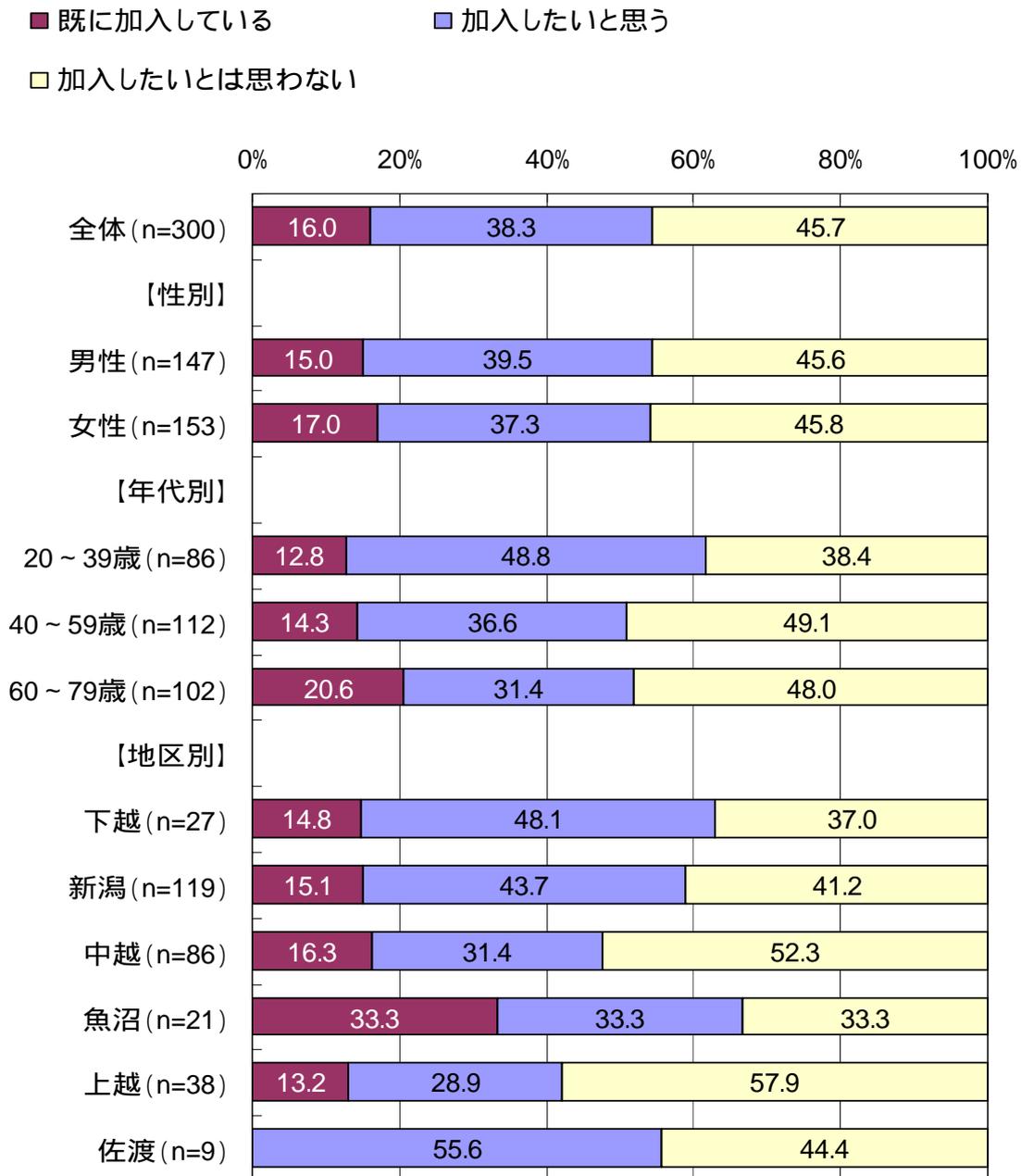
1	既に参加している	48人	16.0%
2	加入したいと思う	115人	38.3%
3	加入したいとは思わない	137人	45.7%



コメント

運動やスポーツのクラブまたは同好会への加入状況と意向について尋ねたところ、「既に参加している」の回答割合が16.0%（前回比2.8%減）、「加入したいと思う」が38.3%（同4.9%増）であった。一方、「加入したいとは思わない」の回答割合は45.7%（同1.7%減）であった。

【性・年代・地区別】



コメント

全体的に「既に参加している」の回答割合は低く、「女性」(17.0%)が「男性」(15.0%)を2.0%上回った。

年代別では、「既に参加している」の回答割合が「60～79歳」(20.6%)で最も高く、「参加したいと思う」は「20～39歳」(48.8%)で最も高かった。

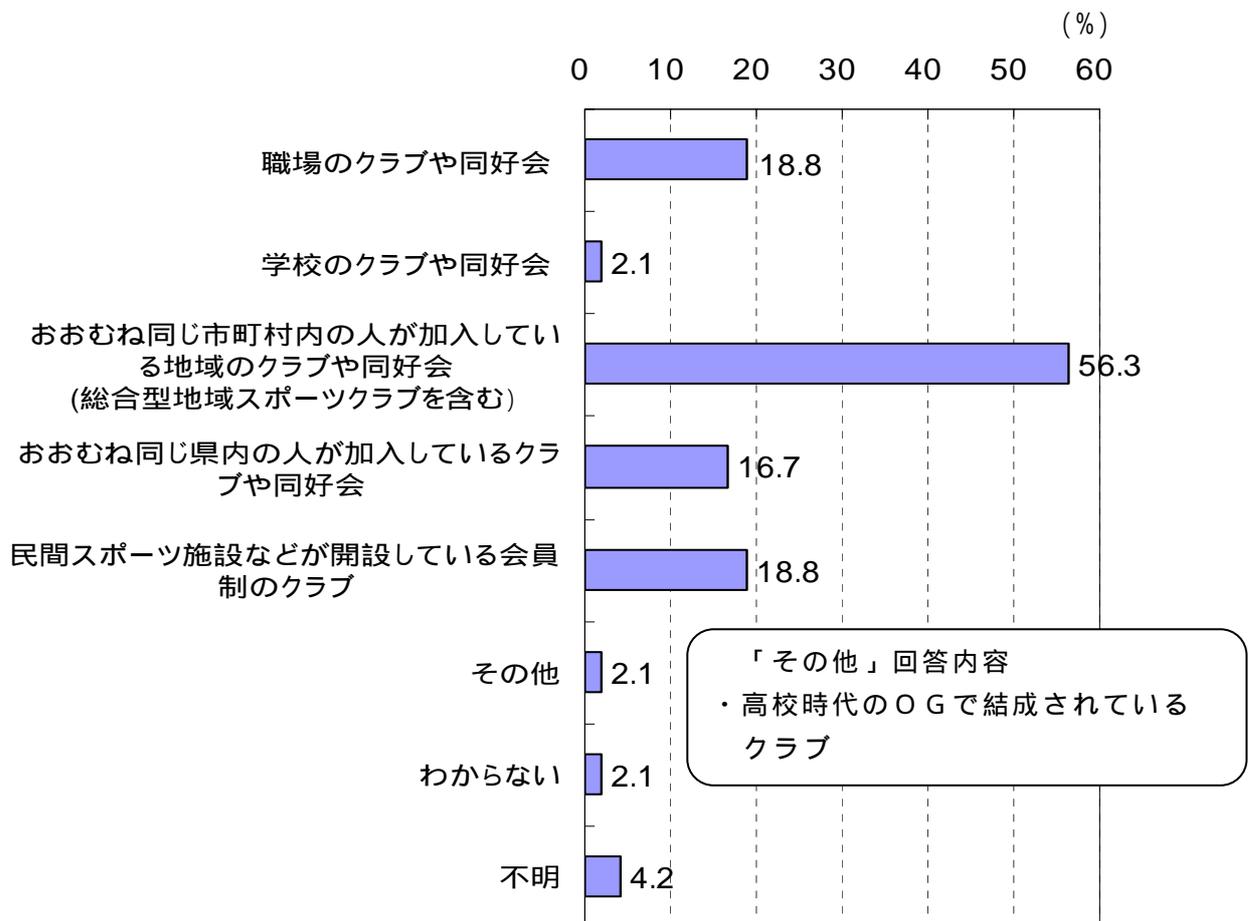
地区別では、「既に参加している」の回答割合が「魚沼地区」(33.3%)で最も高く、「佐渡地区」では0%であった。「参加したいと思う」は「佐渡地区」(55.6%)で最も高く、上越地区(28.9%)が最も低かった。

クラブまたは同好会に「既に参加している」方へ

問7 - 1：加入しているのは、どのようなクラブまたは同好会ですか。
(はいくつでも)

n = 48人

1	職場のクラブや同好会	9人	18.8%
2	学校のクラブや同好会	1人	2.1%
3	おおむね同じ市町村内の人が加入している地域のクラブや同好会(総合型地域スポーツクラブを含む)	27人	56.3%
4	おおむね同じ県内の人加入しているクラブや同好会	8人	16.7%
5	民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ	9人	18.8%
6	その他	1人	2.1%
7	わからない	1人	2.1%
8	不明	2人	4.2%



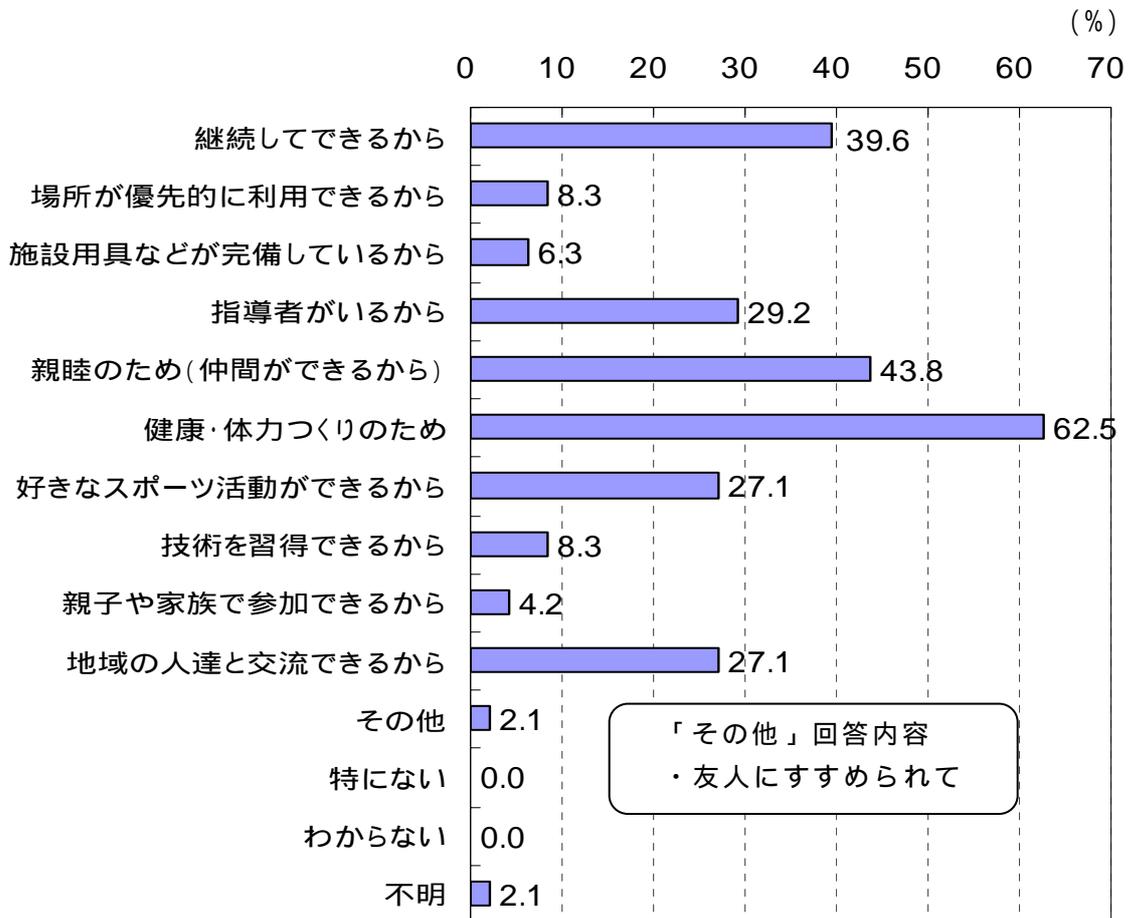
コメント

運動やスポーツのクラブまたは同好会に「既に参加している」と回答した48人に対して、どのようなクラブまたは同好会に加入しているか尋ねたところ、「おおむね同じ市町村内の人が加入している地域のクラブや同好会(総合型地域スポーツクラブを含む)」の回答割合が56.3%(前回比0.6%減)で他を大きく上回った。

.....
クラブまたは同好会に「既に参加している」方へ
問7 - 2 : そのクラブまたは同好会に参加した動機は何ですか。(はいくつでも)

n = 48人

1	継続してできるから	19人	39.6%
2	場所が優先的に利用できるから	4人	8.3%
3	施設用具などが完備しているから	3人	6.3%
4	指導者がいるから	14人	29.2%
5	親睦のため(仲間ができるから)	21人	43.8%
6	健康・体力づくりのため	30人	62.5%
7	好きなスポーツ活動ができるから	13人	27.1%
8	技術を習得できるから	4人	8.3%
9	親子や家族で参加できるから	2人	4.2%
10	地域の人達と交流できるから	13人	27.1%
11	その他	1人	2.1%
12	特にない	0人	0.0%
13	わからない	0人	0.0%
14	不明	1人	2.1%



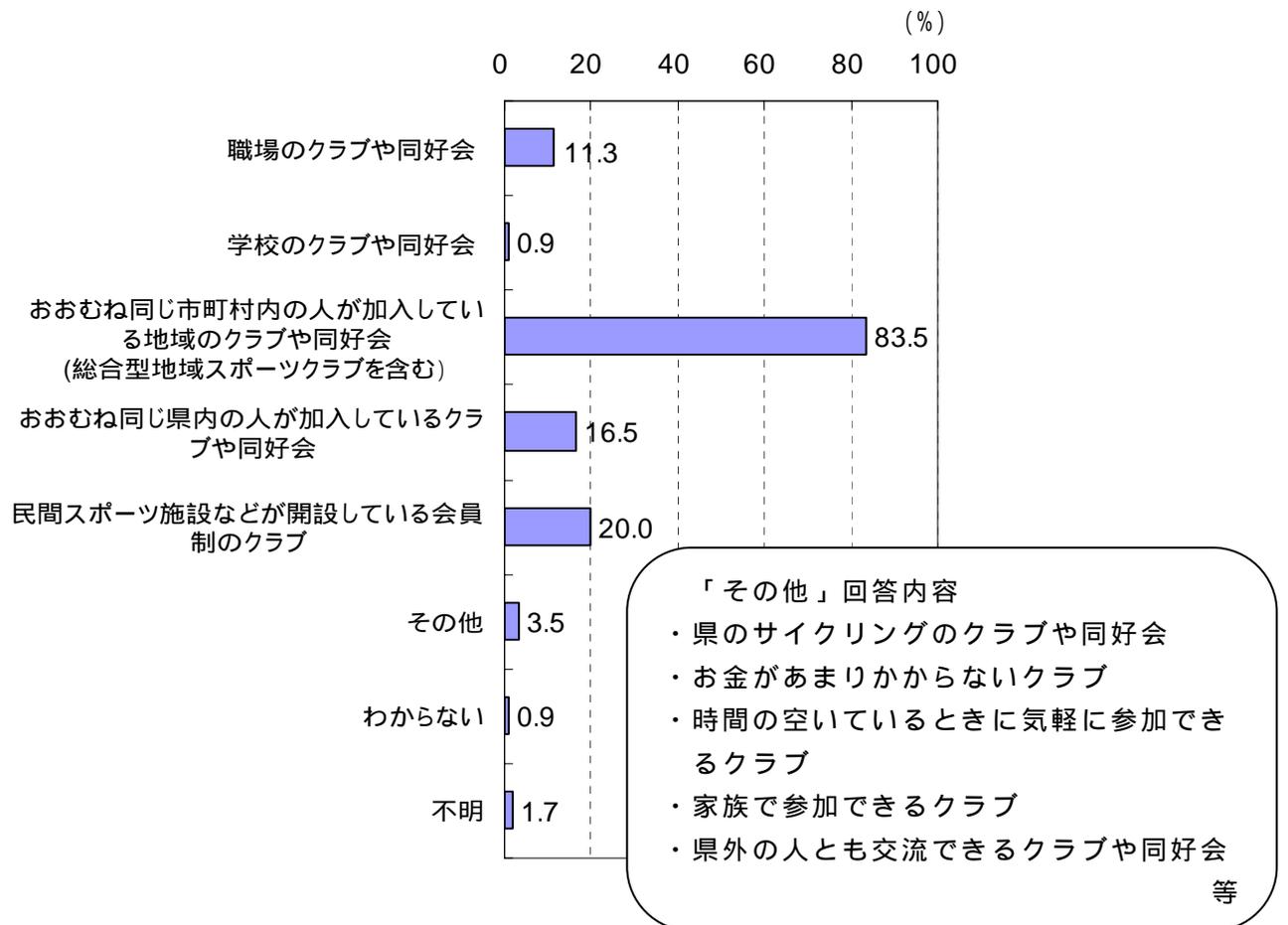
コメント

運動やスポーツのクラブまたは同好会に「既に参加している」と回答した48人に対して、クラブまたは同好会に参加した動機を尋ねたところ、「健康・体力づくりのため」の回答割合が62.5%（前回比5.6%増）で最も高かった。以下、「親睦のため（仲間ができるから）」が43.8%（同7.9%減）、「継続してできるから」が39.6%（同3.4%増）の順で続いた。

.....
クラブまたは同好会に「参加したいと思う」方へ.....
問7 - 3：どのようなクラブまたは同好会に参加したいですか。（はいいくつでも）.....

n = 115人

1	職場のクラブや同好会	13人	11.3%
2	学校のクラブや同好会	1人	0.9%
3	おおむね同じ市町村内の人が参加している地域のクラブや同好会(総合型地域スポーツクラブを含む)	96人	83.5%
4	おおむね同じ県内の人参加しているクラブや同好会	19人	16.5%
5	民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ	23人	20.0%
6	その他	4人	3.5%
7	わからない	1人	0.9%
8	不明	2人	1.7%



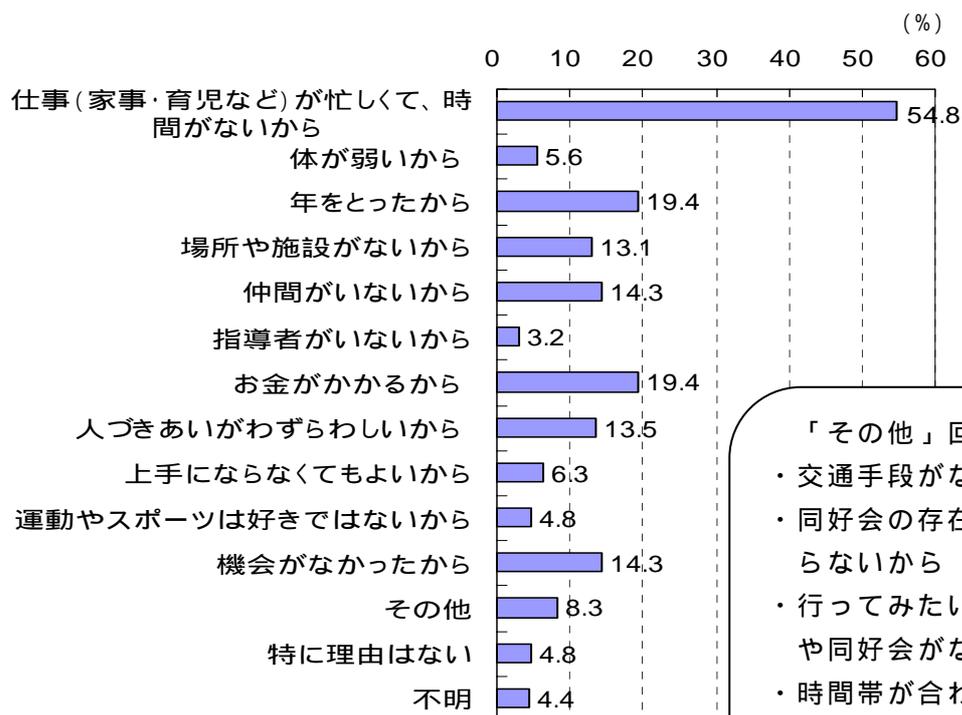
コメント

運動やスポーツのクラブまたは同好会に「加入したいと思う」または「加入したいとは思わない」と回答した252人に対して、運動やスポーツのクラブまたは同好会に加入していない理由について尋ねたところ、「仕事（家事・育児など）が忙しくて、時間がないから」の回答割合が54.8%（前回比1.8%増）と最も高かった。以下、「年をとったから」「お金がかかるから」が19.4%（それぞれ同3.1%減、2.9%増）が続いた。

.....
● 現在、クラブまたは同好会へ加入していない方へ
● 問7 - 4：あなたが運動やスポーツのクラブまたは同好会に加入していない理由は
● 何ですか。（ は3つまで）
.....

n = 252人

1	仕事（家事・育児など）が忙しくて、時間がないから	138人	54.8%
2	体が弱いから	14人	5.6%
3	年をとったから	49人	19.4%
4	場所や施設がないから	33人	13.1%
5	仲間がいないから	36人	14.3%
6	指導者がいないから	8人	3.2%
7	お金がかかるから	49人	19.4%
8	人づきあいがわずらわしいから	34人	13.5%
9	上手にならなくてもよいから	16人	6.3%
10	運動やスポーツは好きではないから	12人	4.8%
11	機会がなかったから	36人	14.3%
12	その他	21人	8.3%
13	特に理由はない	12人	4.8%
14	不明	11人	4.4%



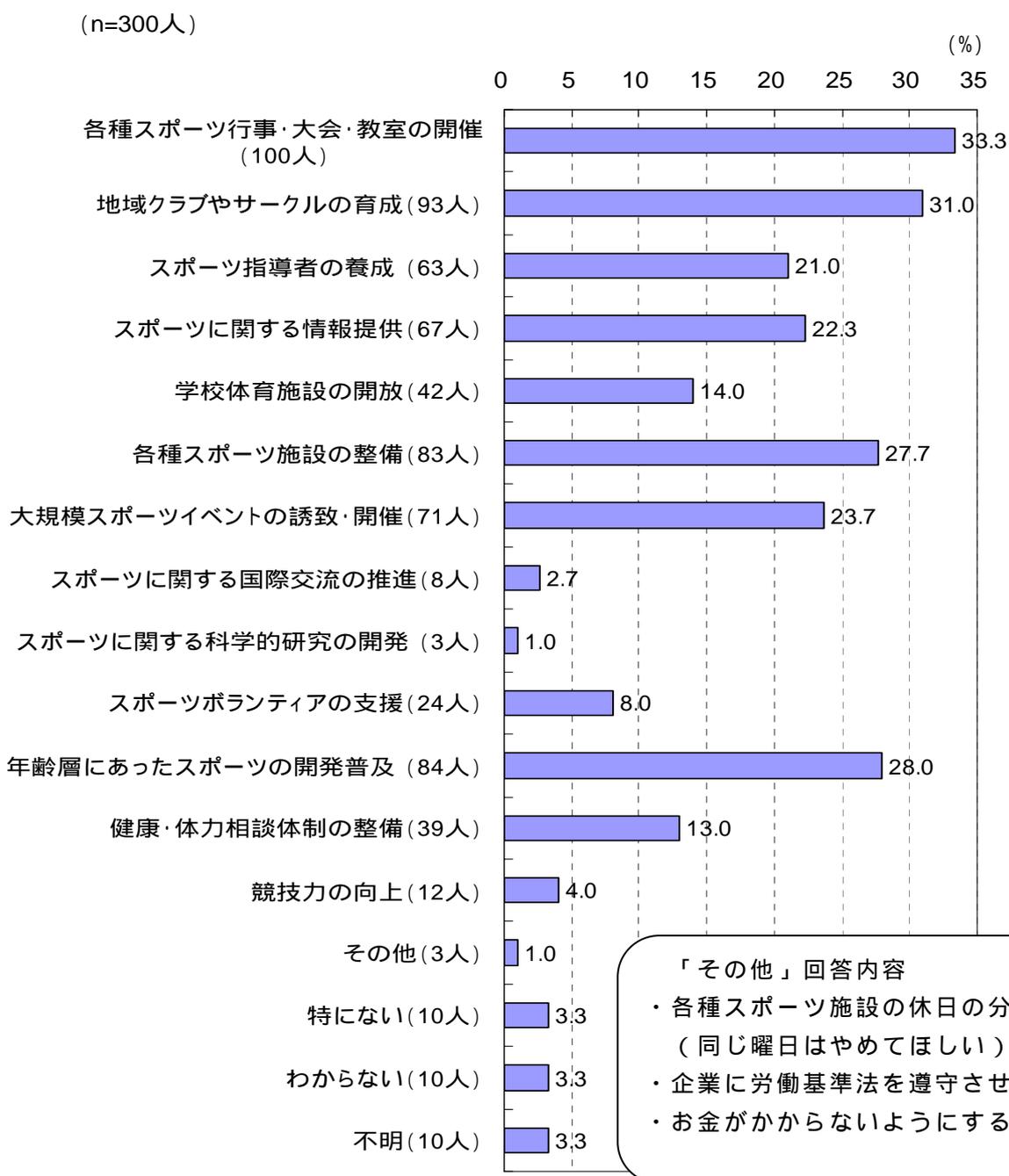
- 「その他」回答内容
- ・交通手段がないから
 - ・同好会の存在や連絡先などわからないから
 - ・行ってみたいスポーツのクラブや同好会がない
 - ・時間帯が合わないから
 - ・自分のペースでやりたいから
 - ・身体的な理由 等

コメント

運動やスポーツのクラブまたは同好会に「加入したいと思う」と回答した115人に対して、どのようなクラブまたは同好会に加入したいか尋ねたところ、「おおむね同じ市町村内の人が加入している地域のクラブや同好会（総合型地域スポーツクラブを含む）」の回答割合が83.5%（前回比13.6%増）を占め、「民間スポーツ施設などが開設している会員制のクラブ」の20.0%（前回比3.3%減）などの回答割合を大きく上回った。

8. スポーツ振興に向けて県に注力してもらいたいこと

問8：あなたは、スポーツをもっと振興させるために、今後県にどのようなことに力を入れてもらいたいと思いますか。（は3つまで）



コメント

スポーツ振興に向けて今後県にどのようなことに力を入れてもらいたいか尋ねたところ、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が33.3%（前回比11.2%増）、「地域クラブやサークルの育成」が31.0%（同4.7%増）、「年齢層にあったスポーツの開発普及」が28.0%（同3.8%減）、「各種スポーツ施設の整備」が27.7%（同1.4%増）、「大規模スポーツイベントの誘致・開催」が23.7%（同5.8%増）、「スポーツに関する情報提供」が22.3%（同5.4%増）、「スポーツ指導者の養成」が21.0%（同1.1%減）などの回答が上位を占めた。

9. 自由回答欄に寄せられたコメント（抜粋）

問9：新潟県のスポーツ振興に関する取り組みについて期待することや、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答欄に寄せられた主なコメントを年代別に掲載する。（一部要約あり）

< 20～39歳 >

- 県民スポーツ振興プランについては初めて知った。成人の週1日以上スポーツ実施率50%以上が目標であれば、2人に1人が毎週1回はスポーツをすることとなるが、子育て中の20代～30代～40代にとってはなかなか難しい（時間と、お金と余裕がない）。児童虐待が叫ばれる昨今、子育ては核家族という小さな社会で行われ、「地域全体で子育てしましょう」などというのは夢のまた夢。みんな自分の仕事と子育てに追われ、時間のない中、必死に生活している（住宅ローンを抱えて）。金銭や時間に余裕がある、独身者、シニア世代はスポーツという余暇活動を楽しめると思う。スポーツをしたいが「できない」余裕がない世代がいることを知ってもらいたい。

（女性・中越）
- 色んな競技で子どもの頃から地域でジュニアの育成が熱心だと、中学、高校と新潟県内の部活動に活気が出て、全国レベルでも通用する人たちがたくさん出てくるのでは……。その為には、予算的なものや、そういった事に携わる人間の数の確保とか大変だと思うが……。

（男性・中越）
- ・上越地域にも新潟市内同様のスポーツ施設などの建設をお願いしたい。
・もっとスポーツを身近に感じたいし、応援したいので、野球、サッカー、バスケットボールそれぞれのプロチームのホームを上・中・下越地区に分けてもらいたい。

（男性・上越）
- 今、上越市に住んでいるが、体育館等で筋トレ等出来るようにして頂きたい。ジム等で月払いの契約より、日払いで使用出来る施設を充実させて頂きたい。

（男性・上越）
- 長く親しまれているものからニュースポーツまで、多くの県民が色々なスポーツを楽しむ場を設けて欲しい。低価格でクラブ活動のできる場があれば、スポーツを通じて、健康意識や地域のコミュニケーションが深まると思う。幼児、小学生、中高年層向けのクラブは積極的に開かれているが、青年層向けのクラブは少ない。

（女性・上越）
- プロ野球のオールスターは大変良かった。

（男性・佐渡）
- 子どもたちがスポーツをするにあたって、しっかりと指導してくれる人が減ってきてい

と感じている。指導者の知識も低いと思うので、子どもたちのためにも色々なスポーツの指導者を育成して欲しい。

(女性・魚沼)

- ・スポーツをやりたいと思っている人は多いはず(私も含め)。しかしクラブや施設は本格的にバリバリやっている人が多く、ビギナーやたまにやりたい人はどうしても遠慮しがちで結果的に足が遠のく。施設でビギナーを歓迎するイベント等を設けるとか、月に1日「スポーツの日」を設けるとかしてスポーツ人口のすそ野を広げる施策をやってもらいたい。

・プロ野球球団の誘致、期待している。仙台や札幌のように盛り上がると思う。

(男性・新潟)

- 私たちの住む新潟は雪国ということで、冬が長く、他県より雪などで交通手段にも少なからず影響があると思う。新潟県はスケート場が少なすぎると思う。集客が少ないなどの理由で、スケート場としての経営が難しいというのは分かるが、そこは県で何とかしてもらえないか。

(女性・中越)

- 私は未婚のため、ママバレーに入ることもできず、練習に入れてもらうくらいだが、学生を卒業して結婚するまでの歳くらいは、友人の紹介がない限り、それ程スポーツの大会などに出れず、仲間もいないため、運動できずにいる。卒業から結婚までの期間、それくらいの歳の子がワイワイ集まって、気兼ねなくできる、集まれる練習や大会などの場があるとよい。例えば、バレーで言えば各6名(或いは9名)ずつ集め、経験のあるなしに関係なく参加できるような大会。仲間を集めて参加した時に、たまたま知り合いがいれば交流も深まると思います。

(女性・中越)

- プロ野球開催は非常によいイベントだと思う。巨人戦はもちろんだが、ソフトバンク等の人気チームの開催もおもしろいと思う。

(男性・中越)

- 普通に暮らしているだけだと、サークルがあること自体もわからない。まずは情報を得やすくするしくみがほしい。

(男性・中越)

- 県内の各スポーツ場(グラウンド、体育館、トレーニング場)等を1週間に1回や1ヵ月に数回程度だけでもいいので無料開放して欲しい。維持費等の問題があり、無理な要望だと思うが、検討してもらえたら有り難い。

(男性・中越)

- 私は現在、中学校でソフトテニスの部活動をしている。年々特に感じることは、子どもの運動能力の低下である。幼いときの遊びや、小学校での運動経験の少なさを非常に感じる。基本的な体の使い方が分からないとか、簡単なボール投げすら、ぎこちなく行っている子どもを目の当たりにしている。一方で、小学校からのクラブでしっかりやって

きている子どももいる。できる子とできない子の二極化が大きい。部活を指導していて、小学校からクラブでしっかりやってきている子どもは、試合で勝ち、やっていなかった子は3年間では技術的に追いついていかないという現状がある。決して勝利至上主義ではないが、やはり子どもには「勝ち」へこだわって、そこに一生懸命向かう姿勢、そして勝った時の嬉しさを味わわせてあげたいと考える。スポーツの楽しさは、それだけではないが、大切な要素だと思う。そのスポーツの楽しさを味わった時に続けたいという思いが湧いたり、大人になっても楽しみたいという気持ちにつながっていきたくて考えている。また、私たちの地域も良い活動ができているわけではないが、小・中・高・さらに上という連携が、しっかりできていけたらと思う。仮に、小学校の時に全国1位になった競技があったとしても自分の行く中学校には、そのような部活動がないとか、さらに上手になりたくても学力が足りずにその高校への進学がかなわないなど、様々な問題があると思う。是非、現場でがんばっている指導者や、その周囲の方々、地域の声を、これからも県にはしっかり聞いていって欲しい。

(男性・中越)

- ・誰でも気軽に使える体育館や運動場が少ないと思うのでもっと増やして欲しい(土日祝日、県内の小・中・高の体育館やグラウンドの開放など)。
 - ・スキー場の入場料やスクール料金やレンタル料などが少し高い気がする(スノーボードやスキーなどはスキー場でしかできないので仕方なく払っているが...)。友人を誘うと「お金がかかるから行かない」と言われることが多い。新潟は雪が多く、ウィンタースポーツを行うのに適している地域なので、雪国ならではのスポーツを県民が興味を持って行うことができたいり、取り組めるようにした方がいいと思う。例えば、日時を限定し、その日だけ無料でウィンタースポーツ教室をおこなうなど、人件費がかかるという問題があるなら、スポーツの専門学校の学生にボランティアをお願いするなど。
 - ・経験のない人でも、参加できるような大会などをたくさん開催して欲しい。参加したくてもうまい人ばかりだと、経験の少ない人は気が引けると思う。スポーツするもの、観るのも好きなので、県の今後の取り組みに期待している。

(女性・下越)

- サッカーW杯日本開催を実現できたら、またビッグスワンでサッカーを見たい。チャレンジカップ等練習試合もどんどん誘致して欲しい。

(女性・新潟)

- プロ野球チームを誘致し得る企業を育成すべく、企業への支援活動を積極的をお願いする。

(男性・新潟)

- 子供達のがびのびとスポーツが出来るように、又、プロの方との交流を増やし、スポーツに対して楽しみ方や、もっと強くなりたい、上手になりたいと思って取り組めるような育成に力を入れて欲しい。団体競技もさることながら、個人競技の育成にも力を入れて欲しい。もっと新潟で国際大会が見たい!! 治安的に難しいことも沢山あるとは思いますが、頑張っって欲しい。

(男性・新潟)

- 新潟市に野球場ができたが、建設費がいくらかかって、その財源をどうやって確保したのか明確にして欲しい。

(男性・新潟)

- ・サッカー場(ビッグスワン)、野球場(エコスタジアム)ができてサッカー、野球に昔より興味がでた。とてもよかった。
・(新潟市)中央区などには多くのスポーツのサークルなどがあるが、家の近く(南区)にもっとあるとスポーツをしたくなると思う。

(女性・新潟)

- 地域で気軽にできる運動施設や機会が普及するとよいと思う。今年のようにプロ野球のオールスターやフィギュアスケートなどの催しが開催されることは、県民のスポーツに対する意識向上につながるものだと思うので、今後も続けて欲しい。

(女性・新潟)

- ・(新潟県とは限らないが)ハードはいいので、ソフトの面やメンタル強化、食事(栄養)面などでの取り組みを強化させることなどが必要だと思う。
・新潟県出身のスポーツ選手を県外や海外などに大勢で連れて行って、力を一段と強くするようにさせるのもいいと思う。
・国体の会場である都道府県がほとんど毎回優勝しているという官僚的な発想はやめて、各都道府県の選手が実力で勝負できるようにしないと選手がかわいそうである。
・サッカーくじなどスポーツ関連の収益金や利益は、サッカーやそれ以外のスポーツの振興にあてられているのか?まさか収益金が政治家の天下り先などにまわっているということはないか?

(男性・新潟)

- 皆が健康でスポーツができる訳ではないので、そこにあまり税金を使って欲しくない。やりたくとも体を動かすことを禁じられている人達もいるので、スポーツよりも健康(医療等)を重視すべきだと考える。

(女性・新潟)

- 新潟県はスポーツ振興は盛んだと思うが、そのPRをもっとして行く方法を模索してもらい、大々的に新潟県民にアピールして、スポーツが日本でもトップクラスになる位までに持って行ってもらいたい。

(男性・新潟)

- プロが来ることによって人が集まるし経済効果もあるのでは...!? 何よりも球児達の刺激にもなって良いのではないか?

(男性・中越)

- 経済が活性化することに期待。

(男性・中越)

- アルビレックス新潟や高校野球のレベル向上のために、行政側からも積極的に支援を行って欲しい。

(男性・中越)

- 昨年の国体で大変スポーツに関心を持った人々が多かったと思う。国体前の国内トッププレイヤーの試合は大変刺激を受けた。中学・高校も以前部活が大変盛んな学校が衰退しているのは、なんとももったいない話で、環境が整っているのに、先生、地域クラブの指導者がいなく、のびなやんでいる地区もある。小、中、高校のトッププレイヤーを集めた指導会はもちろんその次のクラス(トップではないが、有望視されているプレイヤーや弱い地域でもがんばっているプレイヤーなど)を集めた指導会、企業チームの巡回指導会など、いろいろな人から練習方法をまなびスポーツの底上げをお願いしたい。中学部活で先生が指導できない場合、コーチとして人材を派遣する制度を作ってジュニアからの選手育成をお願いしたい。

(女性・中越)

- 子どもが誕生したばかりだが、野球やサッカーなど身近に親子で楽しめるスポーツに今後、取り組む機会が増えると思うので、下記の様な事柄が実現したら嬉しい。

- ・クラブチームへの助成
- ・プロ選手との交流会に近くの体育館で参加できる

(男性・新潟)

< 40～59歳 >

- アルビレックス新潟でサッカーが盛り上がっているなので、これからも時々観戦に行きたい。

(女性・上越)

- 県民スポーツ振興プランとの事だが、以前つくっていたスポーツサークルで週1回同一の体育館を利用して続けようとしたが、サークルが多すぎて、週1回の確保ができなかった。体育館、公民館等スポーツができる施設が足りないのではないかと。譲り合った中で体育館使用は狭く、サークル人数も増やす気になれなかった(バドミントン)。

(女性・上越)

- 全天候型の施設があると行きやすい。送迎バスもあると利用者が増えるのではないかと(過疎の地域に住んでいるため)。ウォーキング用の透明なトンネルのようなウォーキングロードがあると冬でも利用する人がいるのではないかと(体育館をグルグル回るより、景色の違った場所を歩くほうが気分がよい。海岸線にあるとなおよい)。

(男性・中越)

- ・地域のスポーツ少年団への活動補助
- ・県内スポーツ団体(プロ、アマ)に対する応援態勢の充実

(女性・中越)

- ・年寄りの方のスポーツの場が少なく、その場所に行く手段もない人もあり、やりたくてもやれない。
 ・スポーツハウスも年金生活者には入場料も回数利用するときつい。基礎体力をつけるためにも、まずスポーツ環境を使いやすくお願いしたい。
 ・プロのサッカー、バスケット観戦に行くが、柏崎にはないようなので、今後いろいろなスポーツの企画を考えて欲しい。
 (女性・中越)
- 年齢とともにスポーツを始めようとする気持ちがあるが、一歩前に踏み出してやってみようとする事ができない。アンケートの中でも記入したが、良い汗を気軽にかけるような、地域参加型のスポーツクラブが、入会についても大きな制約を持たせずできれば良いと考える。スポーツは自身がやってみたいと思う気持ちが一番、さらに楽しくできればなお良いのではないか。子どもたちの個々の能力を指導する立場の人々が最大限発揮させてあげるのが一番である。
 (男性・上越)
- 全国的に県のレベルが高いスポーツを作り上げること、その為に必要な支援体制の整備
 (男性・上越)
- 地域ごとに何か一つ力を入れて全体で協力し合ってやるスポーツを、時間はかかるが子どもたちから作っていく。
 (女性・上越)
- 健常者以外の事も考慮していただきたい。
 (男性・魚沼)
- 秋葉区に住んでいるが、周辺地区に比べてスポーツ施設の整備がとても遅れていると思う。地域住民が気軽に利用できる体育館やプールがあればスポーツに対する関心も高まるきっかけの1つとなると思う。
 (女性・新潟)
- 誰でも使用できる施設の整備(特に地方で)
 (男性・新潟)
- 今の時代中々厳しいものがあると思いますが、スポーツは人と人との和や様々な壁に当たった時などは乗り越えていけるので、何かいい案を考え振興に取り組んでもらいたい。
 (男性・新潟)
- 国体を見て感動したので、あらゆるスポーツの全国大会を新潟で開催してもらいたい(プロ、アマ、学生など幅広く)。
 (男性・新潟)
- ビッグスワン、エコスタジアムの活用で活性化を図って欲しい。
 (女性・新潟)

- 週1回で体育館の個人開放を利用している。その週ごとに利用者数が変わるが、人数が多すぎてうまくできない時もある。利用人数をみてコート数を増やしたりしてもらえると嬉しい。夏場(特に今年は)体育館の空調をもっとよくしてもらえたらと切に思った。
(女性・新潟)
- 若い層のみでなく、中・高年(50~80歳など)のスポーツ参加の意識を高めていって欲しい。私もやっているボウリングは70代、80代の人もリーグに入って試合をしているし、ストレス解消や、引きこもりも防げ、健康である限り一生できることだと思う。
(女性・新潟)
- 折角ビックスワン、エコスタジアムがあるのだから、国際的な大会を開催することが、新潟を周知させ、集客により経済効果をもたらし、内外の有名人の来県により、県民のスポーツ意識が向上すると思う。
(女性・新潟)
- 国体成功おめでとう。関係者の皆様、たいへん御苦労されたと推測する。今後もジュニア~世界で活躍する選手を育成できるよう、指導者等の新潟での就職の場を整備し、充実させていきたい。
(女性・新潟)
- ・子どもや家族といっしょに、スポーツや体力づくりができる場がたくさんあるといいと思う。
・あまりお金がかからず、あいている時間にスポーツできる場が(1人でも大勢でも)あるとうれしい。
(女性・新潟)
- 先日のプロ野球のオールスターを見に行った。プロの技術はもちろんだが、それぞれの球団、選手に対する応援、インニング毎の球団マスコットのパフォーマンス、どれをとっても私たちに満足感を与えてくれた。このような機会がどんどん増えてくれればと思う。
(女性・新潟)
- 高校野球のように全国レベルの向上に県としてのご協力をお願いします。
(男性・下越)
- 情報提供お願いしたい。
(男性・下越)
- 地域の人が気軽にできる、公共の場を開放して欲しい。
(女性・下越)
- 素晴らしいスタジアムを様々な形で、県民がより親しむチャンスを多く作ってもらいたい。
(女性・下越)

- 県であることから、その力を使い各種大規模スポーツイベントを誘致、開催し、県民が興味を出し活動することにより、経済も体力も活性化するのではないかと。また、県民のすみずみまでへの広報・周知もテレビ・ラジオのスポットCMでお願いします。県の広報紙面やテレビ・ラジオ番組はカタクて見るのに疲れる（申し訳ないが...）。スポーツ施設を使いたくとも休日（曜日）が同じだと使えないので、必ず分散して欲しい。
(男性・新潟)
- スポーツ振興を図ることによって、是非地域の活性化を図っていただきたいと思う。県民の健康増進に役立ち、また地域の活性化を図れば、一石二鳥だと思う。大いに期待している。
(男性・新潟)
- 高校野球における、昨年の日本文理高校、今年の明訓高校の活躍は、必ずや県民の野球への関心を高め、とりわけ小中学生の年代への影響は大きいものがあると思っている。従って、陸上競技をはじめ、他の競技においても、全国レベルの活躍がスポーツ振興には必要だと考えている。そのためには、もちろん施設の整備は必要とは思っているが、それ以上に指導者の育成、指導環境の整備が重要であると思う。ハードとソフトの両輪の整備だが、どちらかというソフト面の整備に軸足を置いた方が継続的な取り組みになると思う。
(男性・新潟)
- ハードオフエコスタジアムが出来、プロ野球公式戦やオールスター戦が開催され、盛り上がっている。プロ野球だけではなく、アマチュア野球の大会や、野球以外にも各種イベント、屋外コンサートなどもたくさん開催して欲しい。ビッグスワン＝サッカーというイメージが大きいですが、ビッグスワンのトラックを使って、陸上競技の大会をもっと開催して欲しい。
(男性・新潟)
- イベントの誘致。子供は高校生まで入場料等を取らない。大会運営のボランティアを県民にアピールして参加してもらおう。
(男性・新潟)
- スポーツだけでなく、スポーツを通じた健康づくりに力を注ぐべきではないか。高齢化や健保の件も考えてほしい。そのためには競技スポーツのことだけでなく、地域住民が気軽に健康づくりできる場所や制度づくりをやって欲しい。一般人は生活も苦しく、お金もない。その中でしっかり税金を払っているのが有効に使って欲しい（働かない公務員は減俸にならないのか。一般の社会では解雇されるが・・・）。
(男性・新潟)
- 主にテニスをしている。雪の多い地域のため、冬場は場所の確保が難しい。プロの大会などを誘致できたら、県内のテニス人口もレベルが上がっていくと思う（新潟のテニスレベルは全国に比べれば低いので）。同じスポーツを通して、いろいろな人と交流し、自分の世界が広がっていくことがとても楽しい。
(女性・魚沼)

- スキー場をなくさないで欲しい。雪国新潟のイメージがなくなり、さびしい。
(女性・魚沼)
- ・サッカーワールドカップの誘致
・南魚沼市の野球場建設
・サッカーアルビレックスが優勝できるように新潟県の支援強化
(男性・魚沼)
- 体育館の使用料がかかるため、少人数でのスポーツサークルでは自己負担がどうしても多くなる。経済面での支援をお願いします。
(女性・魚沼)
- 中学校において、部活の選択の範囲が狭くなり、希望するスポーツをするのが難しくなっている。少子化のため、しかたないところではあるが、何か良い方法はないものか。
(男性・中越)
- プロ野球の公式戦の開催、日本文理高、新潟明訓高の活躍、バイタルネットの都市対抗野球の出場など野球に関しては県の取り組みの成果が上がってきていると思うが。他の競技にももっと力を入れ、新潟県がスポーツ大国と言われるよう期待する。
(男性・中越)
- 今回、野球場を作って思うが、これから冬を迎えた時、雪の中では使用できないのでは作った意味がないのではないかと！新潟県は雪国なのだから多少お金がかかってもドーム型にするとか工夫がほしかった。そうすれば1年を通して使用可能なのだから。作るにしてもそれなりのお金がかかるのだから、新潟の季節や風土に合わせて作り、年間を通して使用可能にしておけば利用料金も1年分平衡して徴集できるし、維持管理もそれなりにして行けるのではないかと思う。サッカー場も同じだと思う。
(男性・中越)
- スポーツをする、見る、とは、心の豊かさ、経済力にともなうものと思う。スポーツ振興とは県民の生活向上をめざす事と思う。まずは新潟に住みたいと言う環境を作る事に力を入れるべき。人口が増え、豊かな生活が皆できるようであれば人も集まり、スポーツに親しむ事となり、郷土愛も生まれる。県はまず生活しやすい環境を作る事に力をそそぐべきだ。
(男性・中越)
- プロスポーツ的な事も大事だが、お年寄りの方や身心に障害のある方や、あるいは子供や大人、すべての人が一緒になって楽しみながらできるスポーツを考えて欲しい。スポーツを通じて助け合いの心を持ち孤独死や自殺者のない愛と真心をモットーとした新潟県を目指していただきたい。
(男性・中越)

- 多岐にわたるスポーツ施設の拡充

(男性・中越)

- 経費の問題もあると思うが、ボランティア等の協力を得ながら、メジャーのスポーツはもちろん、せっかく作った施設を有効に使い、色々な催しを開催してもらえれば、私たちも気軽に出かけると思う。

(女性・中越)

- 色々な種目のスポーツイベントの開催、またそれに伴うテレビ中継をして欲しい。大きな大会やゴルフ、野球、バスケ、サッカーなどはテレビで見たり観戦したりすることがあっても、ローカルでやっているような水泳大会、体操など。小、中、高、シニア、障害者など県内でもたくさんの人達がそれぞれの体力にあったスポーツを楽しんでいるが、大会というより気軽なイベントというような形で参加できるともう少し向上するのではないだろうか。また、テレビで放送すれば、「遠くて行けない」「時間がない」「見るのは好き」という方々には喜ばれるのではないだろうか。ある人が、子供を水泳教室に通わせたいが、入館料と月謝を払うとバカにならないのでやめたと言っていた。一例ではあるが、水泳教室に通う人は入館料免除というような、もう少し気軽に利用できるようにしてはどうか。施設の維持、管理、人件費等必要とは思いますが、 unnecessaryな経費もあるのではないだろうか。

(女性・中越)

- 大きな大会などは、新潟市など中心部で開催されることが多く、地方など市外に住んでいるとなかなか時間的に制限される。スポーツに限らず芸術面においても感じられる。

(女性・中越)

- 他の県に比べて、スポーツする場所、取り組み方が少ないと思う。もっと多くの施設があれば良いと思う。

(男性・中越)

- 野球、サッカー場の大規模な施設が建築されたが、現状ではプロの試合が年間数十回程とアマチュアの一部大会の利用にとどまり、巨額の費用に見合った効果的活用がなされていないと思う。維持管理に要する経費を節減するだけでなく、イベント的な活用を検討(場合によっては、県民意見を募集)してほしい。又、小中学校等の生徒らに施設を使用してスポーツ授業が受けられるようにしてはどうか。

(男性・中越)

< 60~79歳 >

- 上・中・下越の地域レベルの差の解消に役立つ施設をお願いしたい。少年野球、サッカー、バスケット等。

(男性・上越)

- スポーツに対する環境面も充実されたので、皆がスポーツに関心をもてるものがあれば

もっと良い。

(男性・中越)

● A) スポーツ振興指導者への要望

A-1: 過去のスポーツ実践者を選定の優先とする。但し、スポーツ科学アカデミー(新大内に新設)の科学理論を研修する。

A-2: スポーツの種目を重点・その他に設定し、その種目のエキスパートを投入し、究極的には「勝」を競技の前提=作戦に指導してもらう。

A-3: 過去の本県の指導者の猛省点

「正々堂々とやれ」「がんばれ」等の誠に幼稚な指導の言動では指導者としては失格。

B) 指導者の原理主義的指導への注文 = 各年齢層

恐らく、簡便マニュアルか何かで教習したであろう指導要領を画一的に強要しないこと(金科玉条文でなく)。

例) ウォーキングについて: 両手を大きく振り、大腿で早足でスポーツ一流選手でも問題 理論と実践のアンバランス

(男性・中越)

- 全体のスポーツのレベルはあがっていると思う。色々な施設の整備、プロスポーツの発展等々実を結んだ結果だと思う。年をとるにつれ、体を動かすことが面倒くさくなっている。ラジオ体操等家でできるものやビデオをみながら一緒に体を動かしている。楽しみながら体を動かすこと、レクリエーションを重ねながら、しらすらすらの内に血行がよくなる様ならなおラッキーである。小さな時から体を動かし、ずっとそれが年をとるまで続いたら理想的である。東京から近いという利点を生かし、新潟県の食をからめて経済の発展に結びつけば最高である。雪に関係したスポーツ以外のスポーツで新潟県を売り出して欲しいものだ。1人1人が、「自分の健康は自分で」がモットーである。行政の施設、相談所などうまく利用し健康でなかつ、友達ができれば最高だが、どうすればそれができるのか、まず自分自ら動くということだろうか。

(女性・中越)

- 下越、中越に行事が寄り過ぎではなからうか?

(男性・上越)

- 過疎地の高齢者には、その様な機会がない。

(男性・上越)

- 佐渡に住んでいる。新潟県内で(特に新潟市)プロスポーツが開催されることを望む。姪が新潟市に居る関係でプロ野球観戦、ハードオフ・エコスタジアムで昨年は横浜~中日戦、今年は7/24プロ野球オールスター戦を観た。又ビッグスワンではアルビのサッカー、サポーターの応援を見ている楽しかった。朱鷺メッセではプロバスケ、アルビ対大宮戦等離島故、ナイターでは一泊を必要とするがデイゲームでは日帰りできる。県に感謝している。

(男性・佐渡)

- 学校施設の開放を特に望む。各市町村の指導者とともに行動できること。
(男性・佐渡)
- 少し前まで野球、ゴルフ、ハイキング、登山等、サークルにも楽しく参加していたが、腰を痛め、坂道での歩行が困難になるなど、最近スポーツから遠ざかっている。スポーツの必要性は理解しており、県民のために、より活動をお願いしたい。
(男性・魚沼)
- スポーツをプロ化と地域活動だけで行うものと区分けに行う。競技会や大会組織にしないであくまで地域活動的な運動・競技にしていく。
(男性・新潟)
- 体育施設の増設、充実
年齢層にあった施設(老人向け)
 - ・ペタンク場
 - ・輪投げ大会施設
 - ・ゲートボール
 全ては予算が必要、それらの助成金
(男性・新潟)
- とにかくスポーツは見るのは大好き(テレビ、新聞等だが)。アルビレックスも大変頑張っている。応援に行きたいと思うが、遠いと車では無事に行けるかと思うとなかなか行けない。直接会場に行ける様なバスがあったらと夢を見ている。
(女性・中越)
- 現在のとおりでよろしいと思う。
(男性・中越)
- 8月17日NHKテレビでタカ&トシのコンビの韓国自転車の旅を見た。韓国では今、自転車ブーム、車社会からの脱却をめざして、エコと健康志向からの自転車文化を進める取り組みを国をあげて進めているということ。観光用自転車専用道路もあるとか。私自身も近々自動車免許を返上しなければいけない時期にきている。これからは自転車に頼ることになる。私には間に合わないが、遠く先を見ての施策をお願いします。
(男性・中越)
- 大規模スポーツや派手なサッカー等に力を入れて競技場を作るのは良いが、ゲートボールのような地味な運動ができる場所が整備されると良いと思う。ビッグスワン、野球スタジアム(新潟、三条)等、選ばれた人が使う場ばかりでなく、普通の人が入り出できる施設が、街の外れでなく、街の中に欲しい。40歳以上の者にとって、移動することも大変である。何が良いか分からないが、派手なものばかりに予算がつき、実行されているような。年齢問わず一緒にできるものがないだろうか。
(男性・中越)

- 私たちの地域は、大きいところからみるとすべての施設が劣っていると思うが、ひがみだろうか。
(男性・新潟)
- 年齢も高くなり、出かけるのに時間のかかる所に住んでいるので参加したりするのが大変である。
(女性・新潟)
- 私はゲートボールをやっている。もう15年くらいになるがよかったと思う。いろんな所へ行ったり、知らない人どうしてもすぐお友達になれたり、家に居たらこういう楽しみはなかったと思う。これからも出来るだけ元気でいてゲートボールをしていきたいと思う。
(女性・新潟)
- サッカースタジアムビッグスワンや県立野球場の完成で大きなイベント、大会の開催を望む。自宅がすぐ近所のため特に希望する。
(男性・新潟)
- 政策のように、子供から高齢者まで地域(社会教育健康づくり)の中で地域施設を活用し、高度な指導者によるプログラムの作成と実施により、健康づくり運動(これが子供教育、体力づくり、成人介護予防)の体制一元的に振興できればと提言する。
(男性・新潟)
- 高齢になって思うようにスポーツが出来ず、残念に思うが、南魚沼市では高齢者向けのレインボー体操(認知症予防と筋力増強、寝たきり防止)を地区集落で行っているの、それに酸化しており大変喜んでいる。高齢者(集落)の意識がいま一つなのが残念に思っている。
(女性・魚沼)
- 1. スキー場 = 割引率を上げて欲しい。近年若者の利用が著しく少なく比較的高齢者が多い。
2. ゴルフ場 = 利用料金の値下げ、利用者が年々少なく(若者達)、年配者が大半(年金受給者)
1、2の件ともに政策局ご当局で是非各企業へご協力の指導をお願いする。期待する。
(男性・魚沼)
- 新潟県は、海、山、川、丘陵、河、島も二つ有り、本当に良い環境の中にある県だと思う。天候や季節に左右されないで出来る室内スポーツ、それぞれの季節にあった野外スポーツ等、タイムや順位を競う競技者のために、健康・体力づくり、楽しみのためにスポーツを行っている人、これからスポーツをやりたいと思っている老若男女のために、この良い環境を有意義に活用して、今以上にスポーツの活性化をお願いする。
(女性・中越)

- 県のスポーツも期待しているが、高齢者でも車で遠くまで行かなくても、近くでできると良いと思う。

(女性・中越)

- 「心、体、交」ラジオ体操(町村、地域等に子どもからお年寄りまで気軽に参加できる、イベント方式で)

(男性・中越)

- 私はゲートボールシニア組に入っている。下火になっていることに不安を感じている。以前は実技指導がテレビで放映された時代もあったとか。PRを何とかならないかなと思う。

(女性・中越)